【報告事項】令和4年度公民館等事業報告について

令和4年度は、依然としてコロナ禍にあることから感染拡大防止対策を講じつつ「主催事業」、「団体育成事業」、「個人学習支援事業」、「貸館事業」の4つを柱に事業を実施した。

なお、小林公民館については、令和4年10月から令和5年9月まで保全改修工事に伴う休館のため、 当該期間の事業実施はありません。

≪主催事業≫

1. 中央公民館

当初計画(令和4年3月公運審)	変更点等							
子ども対象事業								
1. 子ども科学教室								
2. ※創作講座「彩のあるくらし講座」								
子ども工作教室								
大人対象事業								
1. いきいきカレッジ								
2. 健康体操〜無理せず、楽しく、体を動かそう〜								
3. 防災講座 わが家の避難計画「マイ・タイムラ								
イン」をつくろう								
4. ※手賀沼講座―自然と歴史―								
5. ※創作講座「彩のあるくらし講座」								
共催事業								
1. 手賀沼船上親子観察会	子ども対象事業から組み換え							
(※手賀沼講座―自然と歴史―)	「」この心象世末のり心のが失ん							

^{※「}創作講座」及び「手賀沼講座」は、各回、参加者を募集し、カリキュラムの中で子ども対象とする回又は大人対象とする回に分けているため、両対象事業に掲載している。

●子ども科学教室

事業区分	子ども対象事業
hell	身近な材料を使って科学の面白さや原理を学べる工作を行い、ものづくりの喜びや楽しさ、工作の仕
ねらい	方や技術などを学ぶ。
対象	市内在住の小学3年生~6年生
定員	16人
受講者数	15人
受講率	94%

		実施日	内容	講師等	参加者				
プログラム	4	8月27日(土)	 ペットボトルで顕微鏡を作り、細胞を観察する。	千葉市科学館	15人				
	'	0月27日(I)	ハッドがドルと顕成説を下り、神配を観奈する。	職員	137				
参加者合計	1.5	15人							
	É	自分で顕微鏡を作る楽しさ、その顕微鏡で「ツユクサ」、「オオカナダモ」などの細胞をみることがで							
	きる	きる喜びを実感できる講座となった。また、タブレット端末で細胞の画像を撮影し、他の参加者のもの							
講座を	とは	と比較するなど、IT機器を効果的に用いた学習にもなった。							
終えて	なお、講師より、今回の講座は子どもを対象に実施したが、親子で一緒に工作・観察等を行い、関心・								
	意識の共有を図ることで、より充実した講座となることが期待できるとの助言があったので、次回以降								
	の∃	の子ども講座の参考とする。							

●創作講座「彩のあるくらし講座」子ども工作教室

事業区分	子ども対象事業						
	創作・工芸などの作品作りを通して作る喜びを体感しながら、手作りの作品で生活に彩りを添える。						
ねらい	【子ども対象】子どもたちが自然のものを使った創作活動を通して創る喜びを体感することやそこに						
145/1	至る	る想像力、表現力を養	うこと。また、こうした創作活動をきっかけとして	て様々な自然体験	にもつなげ		
	るこ	ことで、課題解決能力	や豊かな人間性など「生きる力」を養っていく。				
対象	市内	n在住の小学生と保護	· 者				
定員	18人						
受講者数	11人						
受講率	61%						
	回 実施日 内容 講師等 参加者						
プログラム	プラム 1 8月2日(火) 松ぼっくりを使ってかわいい自分だけの「夏ぼっくりくん、夏ぼっくりちゃん」を作成する。 茉本 祈子						
参加者合計	11人						
	作業中から、『楽しい!』という声が聞こえていた。細かい作業が多かったにもかかわらず、楽しんで						
講座を	作業に集中して取り組んでいたこと、天然の松ぼっくりを使用することで、間接的に自然を感じとれた						
終えて	こと、何よりも身近なものを使って想像力と創造力を発揮してもの作りの楽しさを実感してもらえたこ						
	とた	が一番の成果だと思わ	れる。				

●いきいきカレッジ

事業区分	大人対象事業
	シニア世代が地域の歴史・健康な体づくり・心を豊かにする創作活動など「知」「徳」「体(栄養含む)」
ねらい	の総合的な学習を学ぶことにより、相互の関係性の理解を深め、どのように実践したら効果的か、生活
	改善のためのアイデアを考えてもらうきっかけづくりをする。また、講座を通し生きがいづくり・仲間
	づくりにつなげることなどにより、これからの人生を活き活きと生活していくことの支援を目指す。

対象	市内在住の50歳以上の人								
定員	16人								
受講者数	16	16人							
受講率	10	00%							
	回 実施日 内容 講師等 参加者								
	1	5月18日(水)	知って得する健康長寿の秘訣	健康増進課職員	15人				
	2	6月15日(水)	シニアのための生き活き生活術	高齢者福祉課 職員	15人				
	3	7月13日(水)	自力整体を学ぶ	秋田 美智子	13人				
プログラム	4	9月14日(水)	防犯の知識	市民活動推進課職員	13人				
	5	10月26日(水)	健康寿命をのばそう! ~セルフチェックとセルフケア~	日野 かおる	13人				
	6	11月30日(水)	木下河岸の歴史について学ぶ	印旛歴史民俗	11人				
	7	12月14日(水)	黒竹・木枝などを使い和モダンの飾りを作る	茉本 祈子	12人				
参加者合計	92人								
講座を終えて	第1回「知って得する健康長寿の秘訣」では、健(検)診を受けて体の状態を知ること、日頃から生活習慣病に気を付けて予防することの大切さを学んだ。 第2回「シニアのための生き活き生活術」では保健師からは認知症の定義、普通の物忘れと認知症の物忘れの違い、認知症は誰もがなり得るもので、早期発見を可能にするのはお互いに気にかけあうことが大切であることを、また理学療法士からは座ってできる軽い運動(脳トレ含む)とウォーキングをするに当たってのポイント等を学んだ。 第3回「自力整体を学ぶ」では、体は一生動かし続けるとの認識のもと、自分自身で体をほぐしたり温めたりする手法を用いて、身体のバランスを整える自力整体を学んだ。 第4回「安全・安心 防犯の知識」では、国・県・印西市の犯罪情勢について、侵入犯罪に強い地域コミュニティーの大切さについて、侵入犯罪を防ぐポイントについて学んだ。 第5回「健康寿命をのばそう!」では、健康な体を維持するために、自分の普段の体について知ることや体の異変に気付くためのセルフチェックの必要性などを学んだ。 第6回「私たちの地域を知る~木下河岸物語~」では、江戸時代の木下河岸の隆盛を、吉岡問屋や三社詣などを通じて学んだ。								

●健康体操 ~無理せず、楽しく、体を動かそう~

事業区分	大人対象事業						
ねらい	健康体操に取り組むことで健康寿命を延ばし、シニア世代の健康の維持・増進の一助とする。						
対象	市内	内在住の50歳以上の	人				
定員	20)人					
受講者数	20)人					
受講率	10	00%					
		実施日	内容	講師等	参加者		
	1	5月11日(水)			18人		
プログラム	2	5月25日(水)			16人		
	3	6月 8日(水)	6回コースでリズム運動、脳トレ、呼吸法、スト	 栄森 容子	18人		
	4	6月22日(水)	レッチ、筋トレ等で無理なく体を動かす。	人林 台丁	16人		
	5	7月 6日(水)			16人		
	6	7月20日(水)			15人		
参加者合計	99人						
	東洋医学の体操で呼吸、精神、身体の3つの調和で、身体のバランスを整え全身の血液の流れを良く						
講座を終えて	し気分を爽快にするといわれる「健美操」やリズムフィットネス運動、簡単な筋トレ等(腕を伸ばしたり						
	足を上げたり、全身の屈伸運動やスクワット・左右の手足を使ってのコンビネーション運動等)による運						
	動を6回コースで行った。内容は基本的には同じものだが、強弱等を調節し、適度な運動量とすること						
	で、参加者からは充実した時間を過ごせたというような声がきけ、続けてやっていきたいといった主旨						
	の意見を多くいただけた。また、健康に対する意識の高さ、体を「適度に」動かすことへの意欲が高い						
	ことが感じられた。						

●防災講座 わが家の避難計画「マイ・タイムライン」をつくろう

事業区分	大人	大人対象事業					
	<u></u>	合風や大雨による水害	常などの災害に対する市民一人ひとりや地域全体 σ	防災意識の向上を	が重要とな		
	る。	自分の住む地域の災	害リスクを知るとともに、余裕をもって安全に避験	難するための知識	を習得する		
ねらい	なと	ご防災意識の向上を目	指す。なお、令和4年度は独居高齢者等避難支援が	が必要な方への啓	発も含め、		
	避難	#支援の担い手となる	民生児童委員及び町内会等の方々に参加していたが	ごく方策を検討し	実施してい		
	<.						
対象	市内	市内在住・在勤の人					
定員	16人						
受講者数	10	10人					
受講率	63	63%					
		実施日	内容	講師等	参加者		
プログラム			市のハザードマップやマイ・タイムライン検討				
	1	6月29日(水)	ツール「逃げキッド」を活用し、マイ・タイムラ	市防災課職員	10人		
			インのつくり方を学ぶ				

参加者合計	10人					
	近年、異常降雨などが常態化している中、市のハザードマップで水害の危険性の確認や水害対策(タイ					
	ムラインなど)の必要性について認識が深められた。また、具体的に何を準備しておけばいいのか等の理					
講座を	解も得られた。					
終えて	今回は、地区の民生委員の方々に多数参加していただいたことで、一人暮らしの高齢者や障害を抱え					
	た方など、災害時に地域の支援が必要な方々への実践的な普及等、地域としての「マイ・タイムライン」					
	づくりの運用が望まれる。					

●※手賀沼講座―自然と歴史―

高みながら、これからのまちづくりについて考える。中央公民館に隣接する手質沼を手掛かりとして総合的に学ぶことができるプログラムを編成し、継続した講座を目指す。 本年度の講座は、手質沼とのかかわりを知るうえで手質沼流域の自然環境や地質の特徴、浄化対策とを学び、自然環境の保全と共生などについて考える機会を提供する。 なお、当該講座は各回にテーマを設け、それぞれ募集し事業を展開することとした。 対象 市内在住の人(※第3回は市内在住の小学生親子) 定員 各回20人(※第3回は8組) 第1回 11人 第2回 20人 第3回 5組12人 第4回 5人 第5回 15人 受講率 第1回 55% 第2回 100% 第3回 63% 第4回 25% 第5回 75% 回 実施日 内容 講師等 参加で 本下交流の社 1 7月 9日(水) 手質沼と私たちの地域~干拓と治水の歩み~ 歴史資料セン 10 ター職員 干葉県立中央 博物館 20 伊佐治 鎖司 10万分ム 3 10月 8日(土) 手質沼流域自然観察会 点 NPO法人亀 5 成川を愛する 会 12	事業区分	事業区分 大人対象事業								
総合的に学ぶことができるプログラムを編成し、継続した講座を目指す。 本年度の講座は、手賀沼とのかかわりを知るうえで手賀沼流域の自然環境や地質の特徴、浄化対策 どを学び、自然環境の保全と共生などについて考える機会を提供する。 なお、当該講座は各回にテーマを設け、それぞれ募集し事業を展開することとした。 対象 市内在住の人(※第3回は市内在住の小学生親子) 定員 各回20人(※第3回は8組) 第1回 11人 第2回 20人 第3回 5組12人 第4回 5人 第5回 15人 要講率 第1回 55% 第2回 100% 第3回 63% 第4回 25% 第5回 75% 回 実施日 内容 講師等 参加者 木下交流の社 歴史資料セン 10 ター職員 17月 9日(水) 手賀沼と私たちの地域~干拓と治水の歩み~ 歴史資料セン 10 ター職員 1 7月 9日(水) 手賀沼と私たちの地域~干拓と治水の歩み~ 歴史資料セン 20 月14日(水) 手賀沼合地の地質と化石 博物館 20 月佐治 鏡司 NPO法人亀		印西地域の歴史・社会・環境などを総合的に学び、自分たちが暮らす地域を理解し、ふるさと意識を								
本年度の講座は、手賀沼とのかかわりを知るうえで手賀沼流域の自然環境や地質の特徴、浄化対策とを学び、自然環境の保全と共生などについて考える機会を提供する。なお、当該講座は各回にテーマを設け、それぞれ募集し事業を展開することとした。 対象 市内在住の人(※第3回は市内在住の小学生親子) 定員 各回20人(※第3回は8組) 要講者数 第1回 11人 第2回 20人 第3回 5組12人 第4回 5人 第5回 15人 第3回 63% 第4回 25% 第2回 100% 第3回 63% 第4回 25% 第5回 75% 回 実施日 内容 講師等 参加者 木下交流の杜 歴史資料セン 10 ター職員 1 7月 9日(水) 手賀沼と私たちの地域~干拓と治水の歩み~ 歴史資料セン 10 ター職員 1 7月 9日(水) 手賀沼合地の地質と化石 博物館 20 伊佐治 銀司 10月5ム 3 10月 8日(土) 手賀沼流域自然観察会 成川を愛する 会 NPO法人亀 成川を愛する 会 12 インフラ インフラ 会 5 会 12		育ā	育みながら、これからのまちづくりについて考える。中央公民館に隣接する手賀沼を手掛かりとして、							
本年度の講座は、手賀沼とのかかわりを知るうえて手賀沼流域の自然環境や地質の特徴、浄化対策 どを学び、自然環境の保全と共生などについて考える機会を提供する。 なお、当該講座は各回にテーマを設け、それぞれ募集し事業を展開することとした。 対象 市内在住の人(※第3回は市内在住の小学生親子) 定員 各回20人(※第3回は市内在住の小学生親子) 第3回 5組12人 第4回 11人 第2回 20人 第3回 5組12人 第4回 5人 第5回 15人 第1回 55% 第2回 100% 第3回 63% 第4回 25% 第5回 75% 回 実施日 内容 講師等 参加で 木下交流の社 1 7月 9日(水) 手賀沼と私たちの地域~干拓と治水の歩み~ 歴史資料セン 10 夕ー職員 干葉県立中央 博物館 20 伊佐治 鎮司 ハPO法人亀 5 成川を愛する 会 12 4 11月 5日(土) 手賀沼流域自然観察会 5 12 4 11月 5日(土) 千賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーン インフラ	to E L	総合	合的に学ぶことができ	るプログラムを編成し、継続した講座を目指す。						
なお、当該講座は各回にテーマを設け、それぞれ募集し事業を展開することとした。 対象 市内在住の人(※第3回は市内在住の小学生親子) 定員 各回20人(※第3回は8組) 第1回 11人 第2回 20人 第3回 5組12人 第4回 5人 第5回 15人 第1回 55% 第2回 100% 第3回 63% 第4回 25% 第5回 75% 回 実施日 内容 講師等 1 7月 9日(水) 手質沼と私たちの地域~干拓と治水の歩み~ 歴史資料セン ター職員 2 9月14日(水) 手賀沼台地の地質と化石 博物館 2 9月14日(水) 手賀沼治域自然観察会 NPO法人亀 成川を愛する 会 プログラム 3 10月 8日(土) 手賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーンイソフラ NPO法人亀 成川を愛する会	125N	2	年度の講座は、手賀	沼とのかかわりを知るうえで手賀沼流域の自然環	境や地質の特徴、	浄化対策な				
対象 市内在住の人 (※第3回は市内在住の小学生親子) 定員 各回20人 (※第3回は8組) 第1回 11人 第2回 20人 第3回 5組12人 第4回 5人 第5回 15人 第1回 55% 第2回 100% 第3回 63% 第4回 25% 第5回 75% 回 実施日 内容 講師等 参加社 木下交流の社 歴史資料セン 10 ター職員 千葉県立中央 博物館 20 伊佐治 鎮回 アログラム 3 10月 8日(土) 手賀沼流域自然観察会 12 4 11月 5日(土) 手賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーン インフラ 会 6 成川を愛する 会 会 会 会 会 会 会 も 日本 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大		どを	を学び、自然環境の保	全と共生などについて考える機会を提供する。						
定員 各回20人(※第3回は8組) 受講者数 第1回 11人 第2回 20人 第3回 5組12人 第4回 5人 第5回 15人 第1回 55% 第2回 100% 第3回 63% 第4回 25% 第5回 75%		7,	まお、当該講座は各回	にテーマを設け、それぞれ募集し事業を展開する	こととした。					
受講者数 第1回 11人 第2回 20人 第3回 5組12人 第4回 5人 第5回 15人 受講率 第1回 55% 第2回 100% 第3回 63% 第4回 25% 第5回 75% 回 実施日 内容 講師等 参加者 木下交流の社 歴史資料セン 月 中職員 子葉県立中央 博物館 月 中佐治 鎮司 ハアログラム 3 10月 8日(土) 手賀沼流域自然観察会 成川を愛する 会 12名 インフラ インフラ インフラ スティー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対象	市区	内在住の人(※第3回	間は市内在住の小学生親子)						
受講者数 第4回 5人 第5回 15人 受講率 第1回 55% 第2回 100% 第3回 63% 第4回 25% 第5回 75% 回 実施日 内容 講師等 参加を 木下交流の杜	定員	各[320人(※第3回は	は8組)						
第4回 5人 第5回 15人 第1回 55% 第2回 100% 第3回 63% 第4回 25% 第5回 75% 第5回	₩.	第	□ 11人	第2回 20人 第	3回 5組12人					
受講率 第4回 25% 第5回 75% 回 実施日 内容 講師等 参加者 1 7月 9日(水) 手賀沼と私たちの地域~干拓と治水の歩み~ 歴史資料セン ター職員 2 9月14日(水) 手賀沼台地の地質と化石 博物館 伊佐治 鎮司 プログラム 3 10月 8日(土) 手賀沼流域自然観察会 NPO法人亀 成川を愛する 会 4 11月 5日(土) 手賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーン インフラ NPO法人亀 成川を愛する 会	受講者数	第4	4回 5人	第5回 15人						
第4回 25% 第5回 75% 回 実施日 内容 講師等 参加者 本下交流の社 歴史資料セン 10 ター職員 フログラム 3 10月 8日(土) 手賀沼流域自然観察会 の別で要する 会	₩	第	10 55%	第2回 100% 第:	30 63%					
1 7月 9日(水) 手賀沼と私たちの地域~干拓と治水の歩み~ 歴史資料セン 10 ター職員 2 9月14日(水) 手賀沼台地の地質と化石 博物館 20 伊佐治 鎮司 プログラム 3 10月 8日(土) 手賀沼流域自然観察会 4 11月 5日(土) 手賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーン インフラ スフラ	党講 率									
1 7月 9日(水) 手賀沼と私たちの地域〜干拓と治水の歩み〜 歴史資料セン ター職員 千葉県立中央 博物館 伊佐治 鎮司 NPO法人亀 成川を愛する 会 11月 5日(土) 手賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーン インフラ ステラス 会 カー・フェー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ			実施日	内容	講師等	参加者				
ター職員					木下交流の杜					
2 9月14日(水) 手賀沼台地の地質と化石 博物館 20 伊佐治 鎖司 NPO法人亀 成川を愛する 会 11月 5日(土) 手賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーン		1	7月 9日(水)	手賀沼と私たちの地域〜干拓と治水の歩み〜	歴史資料セン	10人				
2 9月14日(水) 手賀沼台地の地質と化石 博物館 20 伊佐治 鎮司 NPO法人亀 成川を愛する 会 12 11月 5日(土) 手賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーン					ター職員					
プログラム 3 10月 8日(土) 手賀沼流域自然観察会 NPO法人亀 成川を愛する 会 4 11月 5日(土) 手賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーン インフラ NPO法人亀 成川を愛する 会		2			千葉県立中央					
プログラム 3 10月 8日(土) 手賀沼流域自然観察会			2 9月14日(水)	手賀沼台地の地質と化石	博物館	20人				
プログラム 3 10月 8日(土) 手賀沼流域自然観察会 成川を愛する 12 会 11月 5日(土) 「手賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーン インフラ スフラ 会 5 会					伊佐治 鎭司					
プログラム 3 10月 8日(土) 手賀沼流域自然観察会 成川を愛する 会 12 会 NPO法人亀 インフラ インフラ 会 5					NPO法人亀	E 48				
会	プログラム	3	10月 8日(土)	主) 手賀沼流域自然観察会	成川を愛する	5組				
4 1 1月 5日(土) 手賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーン 成川を愛する 5					会	127				
4 11月 5日(土) 成川を愛する 5 会					NPO法人亀					
会		4	11月 5日(土)		成川を愛する	5人				
我孫子市手賀					会					
					我孫子市手賀					
		5	118 00(-1)	手賀沼の今を知る(手賀沼船上観察・我孫子市	沼課職員	151				
5 11月 9日(水) 鳥の博物館) 我孫子市鳥の				鳥の博物館)	我孫子市鳥の	15人				
博物館学芸員					博物館学芸員					

参加者合計	62人
	第 1 回「手賀沼と私たちの地域〜干拓と治水のあゆみ〜」では、手賀沼の成り立ち、利根川の東遷
	で、洪水の常襲地帯となり、洪水と戦い、干拓、北千葉導水路の完成までの流れを理解できた。
	第2回「手賀沼台地の地質と化石」では、地元の木下貝層、印旛捷水路から出土したナウマンゾウに
	ついてや、講師自身が実際に掘ったクジラの骨を実見できたのが非常に好評であった。
	第3回「手賀沼流域自然観察会」では、亀成川支流の古新田川流域を散策した。随所で生息する動植
講座を	物、昆虫等の説明があり、古新田川では講師が当日獲ったドジョウやエビを間近で見ることで、自分た
終えて	ちの身近にある自然の素晴らしさ、大切さを体感することができた。
	第4回「手賀沼流域(亀成川流域)の自然環境とグリーンインフラ」では、グリーンインフラを活か
	したまちづくりや課題などを通して、身近な自然環境に目を向けるきっかけづくりを行えた。
	第5回「手賀沼の今を知る(手賀沼船上観察・我孫子市鳥の博物館)」では、2つの見学により、主
	に手賀沼周辺の現在の環境について学んだ。特に船上観察は沼の水の透明度を実際に計ってみるなど、
	実際に体感することでより意味のある学びとなった。

●※創作講座「彩のあるくらし講座」

事業区分	大人	大人対象事業						
	創作・工作などの作品作りを通して作る喜びを体感しながら、手作りの作品で生活に彩りを添える。							
		【大人対象】創る喜びを体感することや想像力・表現力を養いながら手作りの作品で生活に彩りを添						
ねらい	えて	ていくこと。また、自	然の物に触れることのきっかけや手先を動かすこと	とは、ストレス緩	和や認知症			
	予例	ちにつながるといわれ	ており、それらの一助とすること。コロナ禍でのタ	巣ごもり生活など ²	を豊かにす			
	る超	亟味を持つきっかけづ	くりとする。					
対象	市内	N在住の18歳以上の	Д					
定員	第1	回 18人	第2回 12人					
受講者数	第1	回 9人	第2回 12人					
受講率	第1回 50% 第2回 100%							
	回 実施日 内容 講師等 参加者							
	大人ものづくり教室 1 1 1 月 1 6 日 (水)							
プログラム	1 1 1月16日(水)							
				印西山野草の				
	2 12月 7日(水) 冬の寄せ植え教室 会							
				伊藤 哲之				
参加者合計	20人							
	「大人ものづくり教室〜黒竹で作る和モダン飾り〜」では、自然の素材と対話し、集中して向き合う							
	ことから得られる無我を感じながら和モダン飾りを制作することができた。また、枝道の『再生芸術の							
講座を	探求』というテーマから、SDGsの取り組みとしても非常に有意義なものとなった。							
終えて	「冬の寄せ植え教室」では、のこぎりを使って竹を切るなど慣れない作業であったが、楽しく、夢中							
	で肌	で取り組まれていた。アンケートからも非常に満足度の高い結果が読み取れた。また、育て方や水やり						
	の影	説明もあり、自宅に戻	ってからは育てる喜びを感じられる講座となった。					

●手賀沼船上親子観察会(手賀沼流域フォーラム実行委員会と共催)

事業区分	共作	董事業					
		印西地域の歴史・社会・環境などを総合的に学び、自分たちが暮らす地域を理解し、ふるさと意識を					
ねらい			まちづくりについて考える。 ・弁天川から手賀沼へ、乗船体験するとともに手籠	空辺沟ボの白麩理:	培の理ばな		
			,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		見り近れる		
対象		察し、環境問題(自然の保全と共生)について、親子で考える機会を提供する。 					
定員)組40人					
受講者数		9組38人					
受講率		5%					
		実施日	内容	講師等	参加者		
プログラム	1	7月30日 (土)	親子で六軒川・弁天川を船で巡り手賀沼の自然 環境を観察する。	(乗船体験) NPO法人印 西市観光協会 (講義) 印西水と暮ら しを守る会	15組30人		
参加者合計	30)人					
講座を終えて	乗船体験では、野鳥、魚や植物などの流域の自然環境等について紹介してもらいながら川めぐりを行い、講義では、「私たちの飲み水、捨て水」、「手賀沼と流域の外来水生生物」をテーマに参加型の講義を行った。 アンケート等による参加者の感想は非常に好評で、乗船体験では、船頭さんの解説のたくみさ、講義は参加型にしたことにより子どもたちが積極的に取り組めたことによるものが大きいと思われる。子ども対象の場合、子どもたちを飽きさせず学んでもらうことが事業の満足度に直結すると思われるので、今後の参考になると思われる。						

2. 小林公民館

当初計画(令和4年3月公運審)	変更点等
子ども対	过象事業
1. すごくよく飛ぶ紙ひこうきをつくろう	
大人対	象事業
1. 小林力レッジ	
2. ピラティス講座	
3. みんなでつくる! 小林アンプラグドミニミニコ	
ンサート	

●すごくよく飛ぶ紙ひこうきをつくろう

事業区分	子と	子ども対象事業			
ねらい	すごくよく飛ぶ紙飛行機の作り方を学び、航空力学・科学に興味を持ってもらう。さらに、自分で作				
14501	った	三紙飛行機がよく飛ぶ	という成功体験をすることで自信を持たせる。		
対象	市内	内在住の小学生			
定員	20)人			
受講者数	14人				
受講率	70%				
		実施日	内容	講師等	参加者
プログラム			紙飛行機(やり飛行機、せみ飛行機)を作り、試		
	1	7月16日(土)	験飛行を行いながらどうすればよりよく飛ばせ	吉村 龍雄	14人
			るかの探求心を育む。		
参加者合計	1 4	4人			
	舟	n空力学など実際の飛	行機に照らし合わせた理論で2種類の紙飛行機を付	作った。紙飛行機	を触ってば
講座を	かり)いると指の油がつい	て重くなってしまうことなどを教えてもらっていた	た。作った紙飛行 ^っ	機を飛ばす
終えて	競勻	競争では、付き添いで来ていた大人も紙飛行機を作り参加するなど、会場にいた全員がよく飛ぶ紙飛行			
	機工	づくりが体験できた。			

●小林力レッジ

事業区分	大人対象事業
40.51	市民が健康で明るく豊かな生活を送るために、幅広い分野に目を向け、生きがいづくり、健康づくり、
ねらい	仲間づくりの一助とする。
対象	市内在住・在勤の50歳以上の人
定員	20人
受講者数	23人
受講率	115%

プログラム		実施日	内容	講師等	参加者
	1	5月28日 (土)	印西市の景観について	都市計画課職員	17人
	2	6月18日(土)	リズムでスローエクササイズ	佐々木 優子	17人
	3	7月23日(土)	カレンダーで潮干狩りの日を見つけよう	河邊 久男	19人
参加者合計	53	3人			
講座を		講義や体験などを通じて知識と経験を深めるとともに、参加者の学ぶ意欲や好奇心向上に努めること			
終えて	がて	できた。			

●ピラティス講座

事業区分	大人	大人対象事業				
ねらい	舱	図式呼吸を用いながら	ストレッチを中心とした動きで、身体の筋肉をした	なやかで丈夫に鍛	える運動を	
145/1	体懸	負し、健康的な身体づ	くりを目指す。			
対象	市内		以上の女性			
定員	1.5	5人				
受講者数	15人					
受講率	10	00%				
		実施日	内容	講師等	参加者	
プログラム	1	6月12日(土)	心肺機能の向上と背骨の柔軟性を強化するため	土井 さやか	15人	
	2	6月26日(土)	のエクササイズを行う。	TH GAN.	13人	
参加者合計	28	3人				
講座を	ピラティスの呼吸法とストレッチを中心とした動きでインナーマッスルを鍛えながらバランスのとれ					
終えて	た真	身体づくりを学んだ。				

●みんなでつくる!小林アンプラグドミニミニコンサート

事業区分	大人	大人対象事業						
ねらい	Ŋ	小林公民館利用サークルのうち音楽関係サークルに対して、気軽に発表の機会を提供するとともに、						
19201	地域	域で音楽活動をする個	人や団体に対しても発表の機会を与え地域の交流を	を図る。				
対象	市内	内在住・在勤の人						
定員	_	_						
受講者数	_							
受講率	_							
		実施日	内容	講師等	参加者			
	4	1 4月20日(水)	ロビーコンサート	カラフルスタ	14人			
プログラム				イル				
	2	E B 4 O D (%)	ロビーコンサート	カラフルスタ	7人			
	2 5月18日(水 			イル				

	3	5月25日(水)	ロビーコンサート	齋藤 和男	8人	
	4	6月15日(水)	ロビーコンサート	カラフルスタ	12人	
	5	7月20日 (水)	ロビーコンサート	カラフルスタ	8人	
	6	7月27日 (水)	ロビーコンサート	齋藤 和男	4人	
	7	8月17日 (水)	ロビーコンサート	カラフルスタ イル	14人	
	8	9月21日(水)	ロビーコンサート	齋藤 和男	6人	
	9	9月28日 (水)	ロビーコンサート	カラフルスタ イル	5人	
参加者合計	78	78人				
講座を 終えて	こと	地域で音楽活動を行う市民や団体に発表の場を作ることができ、地域住民に音楽鑑賞の機会を与えることができた。また、鑑賞に来た市民からその場でリクエストを聞き、そのリクエスト曲を歌ってもらるとびできた。				

3. そうふけ公民館

当初計画(令和4年3月公運審)	変更点等
子ども対	· 过象事業
1. 工作教室(クラフトバック)	
2. 工作教室(トールペイント)	
3. レゴシリアスプレイ	
4. ふれあい大会	
5. 子ども科学教室	
6. 書初め教室	
7. ふわふわスライムづくり	• 追加実施
8. スポーツキッズ	• 追加実施
9. イラストペン入れ講座	• 追加実施
大人対	象事業
1. 防災の備え [食事編] ~自助が7割~	
2. 大人のフラワーアレンジメント	中止
3. しっかり食べて元気ハツラツ!~高齢期の食事	
のポイント~	
4. 健康講座「睡眠と健康」	• 追加実施

●工作教室(クラフトバック)

事業区分	子と	子ども対象事業				
ねらい		L作を通して創作の楽	しさを味わう。			
対象	市内	内在住の小学生と保護	者 者			
定員	20)人				
受講者数	20)人				
受講率	1 (100%				
		実施日	内容	講師等	参加者	
プログラム	1	6月15日(水)	親子でクラフトバックを作る。	播本 芳子	15人 子8人 親7人	
参加者合計	15	15人				
講座を	1	作業は親子で行った。クラフトテープを切ったり編み込んだりしての難しい作業もあったが、作品が				
終えて	完原	戈したことの喜びや達	成感を得ることができた。			

●工作教室(トールペイント)

事業区分	子と	子ども対象事業				
ねらい	J	L作を通して、創作の	楽しさを味わう。			
対象	市内	内在住の小学生				
定員	12	2人				
受講者数	12	2人				
受講率	100%					
		実施日	内容	講師等	参加者	
プログラム	1	8月23日(火)	トールペイントの絵付け体験を通して手芸の手	明保能 勝江	12人	
			法を学び、作品作りの楽しさを体験する			
参加者合計	12	2人				
=# ch: #-	糸	細かい作業が多かったにもかかわらず、楽しんで作業に集中して取り組んでいたことが感じられ、も				
講座を	のピ	の作りの楽しさを実感してもらえたことが一番の成果だと思われる。				
終えて	H	子どもたちの感想にも	「楽しかった」の感想が多く見られた。			

●レゴシリアスプレイ

事業区分	子ども対象事業					
ねらい	レゴブロック作品作りを通して、参加者同士の交流や自分の思いを表現することを体験し、豊かな心					
19201	を育	を育むことを目指す。				
対象	市内		6年生			
定員	10)人				
受講者数	10)人				
受講率	10	00%				
プログラム		実施日	内容	講師等	参加者	
	1	8月3日 (水)	レゴを使って考えを形にし、意見を伝える。	榎本 美紅	7人	
参加者合計	7)					
	L	ノゴは置き方や角度で	見方が変わり、心情を表現することができると講館	師が話していた。	今回は自分	
講座を	をよく知ることで、積極的に参加者と意見を交わし発言する姿が見られ、相手への理解を深めようとす					
終えて	る場	る場面を多く見受けられた。児童からまた参加したいとの意見や親御さんからも事業継続希望があり、				
	始言	まる前と後での児童の	表情に変化を感じた。			

●ふれあい大会

	事業区分	子ども対象事業
	ねらい	グランドゴルフを通じて、世代間・地域の交流を図る。
	対象	市内在住の小学生とその保護者
定員 10組20人		
	受講者数	2組4人

受講率	20%					
		実施日	内容	講師等	参加者	
プログラム	1	12月3日(土)	グランドゴルフによるふれあい大会	牧の原スポーツクラブ	4人 (子2人 親2人)	
参加者合計	4)					
	参加者募集時期から新型コロナウイルス感染症8波の影響で、学級閉鎖等もあり参加者は2組4人					
講座を	と生	ひなかった。参加した	子どもは学年も近く、男の子と女の子で、通学して	ている学校も違っ ⁻	ていたが、	
終えて	直ぐに仲良くなりお互いのプレーを応援していた。また、うまくいかずにすねてしまう場面もあったが					
ルミスし	牧の)原スポーツクラブの	方々がまとめてくださり和気あいあいと世代を超え	えた交流を楽しん	でいたよう	
	であ	である。				

●子ども科学教室

事業区分	子ども対象事業						
ねらい	ě	身近な材料を使って科学の原理を学べる工作や実験を行い、楽しみながら科学の仕組みを学ぶ。					
対象	市内	内在住の小学3年生~	6年生				
定員	8)	(
受講者数	8)	ζ					
受講率	1 (00%					
		実施日	内容	講師等	参加者		
プログラム	1	7月26日(火)	ペットボトルの中の金魚 浮くの?沈むの?をテーマとした科学遊び	松田治久	人8		
参加者合計	8)	(
講座を終えて	答え	参加者は、男の子が多かったこともあり、いろいろな実験に対し積極的に参加し先生からの質問にも 答えていた。実験を身近で感じて、次はどんな変化が出るのか興味を持ってもらうことができた。実験 結果を自ら確認でき実験の楽しさを学ぶことができた。					

●書初め教室

事業区分	子と	ごも対象事業						
to ELV	書	書道体験を通して、日	本の伝統文化および季節の行事に親しむ機会を提	供するとともに、	学校の冬休			
ねらい	340	みの課題作成の一助とする。						
対象	市内	内在住の小学生						
定員	各回	38人						
受講者数	第1	1回 8人	第2回 8人					
受講率	第1	100%	第2回 100%					
		実施日	内容	講師等	参加者			
プログラム	1	128245(+)	まない ないない はい	一	8人			
	2	12月24日(土)	書初めの練習	伊藤 繁子 	8人			

参加者合計	16人
講座を	習字を書いたことがない小学校 1 年生や 6 年生までの参加者がいましたが、講師のやる気が出るよ
終えて	うな指導や半紙に書く課題の文字数によってのバランス、筆の使い方の指導を学ぶことができた。

●ふわふわスライムづくり

事業区分	子ども対象事業					
ねらい	7	スライムのふわふわ感を楽しむ。				
対象	市内	内在住の小学生				
定員	各回	16人				
受講者数	第1	□ 16人	第2回 16人	第3回 16人	第4回 16人	
受講率	第1	100%	第2回 100%	第3回 100%	第4回 100%	
		実施日		内容	講師等	参加者
	1	- 7月22日(木)	- 好きな色づけをして、ふわふわ感を楽しむ。			16人
プログラム	2				 児童館職員	16人
	3	1月11日(水)			八里路嶼貝	16人
	4					16人
参加者合計	64	4人				
講座を	É	自ら作ったスライムに	色をつけ、思い思いの)形を作ったが、材料の量	によりふわふわに仕	上げるのが
	難し	ノく実験感覚も体験で	きた。			
終えて	5	また、7月の実施が非	常に好評であったため)、1月に追加実施を行っ	た。	

●スポーツキッズ

事業区分	子と	子ども対象事業				
ねらい	J	遊びながら、運動神経がよくなるコツをつかむ。				
対象	市区	内在住の小学4年生~	6 年生			
定員	20)人				
受講者数	7)	(
受講率	35	5%				
プログラム		実施日	内容	講師等	参加者	
	1	8月24日 (水)	小学生の運動機能向上のための体の動かし方	保育課職員	7人	
参加者合計	7)	7人				
講座を	1	参加者は、常々体を動かしている様子がうかがえた。体の動く子が多くゲーム感覚で楽しんで参加で				
終えて	きで	ているのを感じた。ま	た、運動の方法で運動能力を高めていけることを	学んだ。		

●イラストペン入れ講座

事業区分	子と	子ども対象事業					
ねらい	浩	漫画家の指導を受けながら、漫画の描き方(下書き)を学ぶ。					
対象	市区	内在住の小学生以上					
定員	1 (D人					
受講者数	8)	ζ					
受講率	80	80%					
プログラム		実施日	内容	講師等	参加者		
	1	1月7日(土)	講師の用意した下書きにペンを入れていく。	栗原 静香	8人		
参加者合計	8)	8人					
講座を	łi	描くことが好きな子どもたちが参加していたため 1 時間集中してできた。また、漫画家の講師から、					
終えて	直接	接指導を受けることが	でき、貴重な体験ができた。				

●防災の備え [食事編] ~自助が7割~

事業区分	大人対象事業						
ねらい		ローリングストック法やビニール袋を使った調理法など、災害時に役立つ食の備えについて学ぶ。					
対象	市内	内在住の人					
定員	10)人					
受講者数	6)	(
受講率	60	60%					
		実施日	内容	講師等	参加者		
プログラム	1	1月20日(金)	防災の備えについての講義と簡単な実習	健康増進課職員	6人		
参加者合計	6人						
講座を	Ä	常日頃から食べる味になれることが避難所での食事となっても抵抗がなくなるとの指導があった。調					
終えて	理0	D実演を見て、参加者	から「家で作ってみよう」と即、実践してみる意名	欲を持つことがで る	きた。		

●大人のフラワーアレンジメント

事業区分	大人対象事業					
to []	ž	造花を使ってフラワー	アレンジメントを体験し、生活を楽しむこと、心な	を豊かにする趣味	を持つこと	
ねらい	のき	のきっかけづくりを行う。				
対象	市内	市内在住の人				
定員	1 0人					
プログラム		実施日	内容	講師等	参加者	
プログラム	1	12月 ※中止	造花を使ったフラワーアレンジメントの作成			

※新型コロナウイルス感染症の影響もあり講師との日程調整がつかず中止

●しっかり食べて元気ハツラツ!~高齢期の食事のポイント~

事業区分	大	大人対象事業					
ねらい	اة	高齢期の食事のポイントについて学び、健康について考える機会を提供し、健康づくり習慣を身につ					
19201	ける	るための一助とする。					
対象	市区	内在住の人					
定員	1 ()人					
受講者数	6,	(
受講率	60	0%					
		実施日	内容	講師等	参加者		
プログラム	1	2月8日(水)	高齢期の食事のポイントについて学ぶ	健康増進課職	6.1		
	'	2月0日(水)	向即州の長事のハイントについて子の	員	6人		
参加者合計	6,	6人					
講座を	IMP.	参加者は栄養や食事に気を配っている人が多く、講師に食事確認をしていただき、同じような食品で					
終えて	も、	も、違う食品とローテーションして摂取することでいろいろなものが摂取できることを学んだ。					

●健康講座 睡眠と健康

事業区分	大人	大人対象事業					
ねらい	Ħ	講座を通して市民に対し健康に関する知識や意識を向上させる。					
対象	市内	内在住の人					
定員	20	20人					
受講者数	1 4	14人					
受講率	70	70%					
		実施日	内容	講師等	参加者		
プログラム	4	2月16日(木)	 睡眠と健康について学ぶ	明治安田生命	1 1 1		
	'			相互保険会社	14人		
参加者合計	1 4	1 4人					
講座を	Ē.	講座の内容は、一方的な講座にならないように随所に工夫が感じられた。参加者自身の睡眠タイプ判					
終えて	別な	などの講座に引きつけ	られていた。				

4. 印旛公民館

当初計画(令和4年3月公運審)	変更点等								
子ども対	子ども対象事業								
1. 親子力ヌー教室									
2. 夏休み工芸教室									
3. 夏休み科学教室									
4. 冬休み書初教室									
大人刘	象事業								
1. みんなのいけばな教室									
2. 初心者のための絵手紙教室									
3. 癒しのアロマ									
4. はじめての yoga									
5. おとなの工芸教室									
6. 自力整体教室									
7. 竹あかり教室									
8. 雪割草の苔玉づくり	• 追加実施								

●親子力ヌー教室

事業区分	子と	ごも対象事業					
	E	1西市民に最も身近な	水辺である印旛沼の近くのプールで、親子でカヌ・	ーの操縦に挑戦す	る。午前は		
ねらい	小鳥	学1年生~3年生と保	護者・午後は小学4年生~6年生と保護者を対象に	こ2部制で行い、	親子で絆を		
	深ぬ	かつつ、自然と触れ合	う大切さと喜びを味わう。				
社 各	市内	内在住の小学生と保護	· 者				
対象 	(<u>*</u>	F前の部は小学 1 年生	E~3 年生と保護者、午後の部は小学 4 年生~6 年	生と保護者)			
定員	各部	第10組20人					
受講者数	第~	回(午前の部) 1	○組2○人 第2回(午後の部) 10組	120人			
受講率	第~	1回(午前の部) 1	00% 第2回(午後の部) 100	0%			
		実施日	内容	講師等	参加者		
	1	7月9日(土)			11組		
プログラム		※午前の部	実際にカヌーに乗って操縦の方法を学び、自然	ISJカヌー	22人		
		7月9日(土)	と触れ合う大切さと喜びを分かち合う。	同好会	9組		
	2	※午後の部			18人		
参加者合計	40	入					
	造	運動に関する内容であ	ったことから関心が大きく、数日で定員に達した。	事業当日、講師	であるIS		
講座を	JŹ	Jカヌー同好会の皆様によって、カヌーの操縦方法の説明から始まり、マンツーマンで補助しながら時					
終えて	=	計回り・反時計回りにと順番でプールを回りながらカヌーを漕いでいた。その後、プールサイドにスラ					
だんし	イタ	ダーを置いてウォータ	ースライダーを行った。子どもたちがカヌーに乗り	0、大きな水しぶ	きをあげな		
	がら	らカヌーがプールに邪	び込むその姿は壮観なものがあった。参加者からに	は、カヌーに本格(的に乗りた		

い、次回も参加したいという感想が多く寄せられた。毎年度非常に人気がある講座で、来年度は定員を 各部で2組4人ずつ、合計で4組8人増やして行う予定である。

なお、ISJとは平成9年(1997年)に同好会が設立された際に関係があったI(印旛村教育委員会)、S(酒々井町教育委員会)、J(順天堂大学)の3つの頭文字である。

●夏休み工芸教室

事業区分							
尹未込刀		ごも対象事業			#h &		
ねらい		自分の手でオカリナ(土笛)や竹細工(竹かご)を作りあげることで、創意工夫を促し、豊かな感性					
	を書	§い、ひとつの工芸作	品を作り上げる喜びを味わう。				
象校	市内	内在住の小学生					
\J_3	(1)	(小学1年生~3年生の場合は工作の難易度が高いため、保護者の付き添いを要する)					
定員	各部	B10人					
受講者数	オカ	コリナの部 9人	竹細工の部 7人				
受講率	オカ	コリナの部 90%	竹細工の部 70%				
		実施日	内容	講師等	参加者		
		7月30日(土)	粘土を使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、				
	1	※オカリナの部	************************************		9人		
		1日目	出来上がったら翌日まで1日置いて乾かす。				
,		7月31日(日)	前日に作ったオカリナの原型に穴を開けて、穴	_			
プログラム	2	※オカリナの部	の大きさで奏でられる音の高低を調整し、ひと	間野 政勝	9人		
		28目	つのオカリナを作り上げる。				
		3 8月 6日(土) ※竹細工の部	約20本の竹ひごを使い、釘や接着剤等を一切				
	3		使うことなく、竹ひごを編み合わせることでひ		7人		
			とつの竹かごを作り上げる。				
参加者合計	25	5人		l			
	聶		は、吹き口(1日目)と指穴(2日目)を開けるの	ーーーー かは、オカリナの ⁵	 音を出すた		
	め重	重要な工程で、大人に	頼りたい子どもと、できるだけ自分で作らせたい値	呆護者のやりとり:	が、見てい		
	て微笑ましく感じられた。						
	竹細工の部では、竹を互い違いに編んでいく工程は、やや難しいようであった。竹には色で緑色と黄						
講座を			者を「青竹」、後者を「白竹」という。それぞれの1				
終えて			も難しく、講師の方の手助けは不可欠であった。そ				
					日記と思いり、		
			とができた。講師の説明も的確であった。	71.6 1.50	7 TD 10 445		
			学校低学年の参加者には難しいように思われたが、	アンケートを見	る限り参加		
	者に	は充実した時間を過ご	せたように感じられた。				

●夏休み科学教室

		秋 王				
事業区分	子と	子ども対象事業				
	Ŋ	学生の理科離れが叫	ばれて久しい中、身近にある材料を使い、理科を	楽しく学べる工作:	物を作り上	
ねらい	げ、	理科の面白さを再認	識する。また、自分の手で工作物を創作すること	で、創意工夫を促	し、ひとつ	
	のピ)作品を作り上げる喜びを味わう。				
対象	市内	対在住の小学4年生~	6年生			
定員	16	5人				
受講者数	14	4人				
受講率	88	3%				
		実施日	内容	講師等	参加者	
			電子レンジと乾燥剤を使ってハーバリウムを作	口士士兴		
プログラム	1	8月20日(十)	ることで、それがどのように作られていくのか	日本大学 理工学部教授	14人	
	'	OAZUG (I)	を理解するとともに、ひとつの工作物を作り上	注工子即教授 大久保 尚紀	14八	
			げる喜びを味わう。	八人体 问礼		
参加者合計	14	1人				
	事	事業当日、材料等はあ	らかじめ机にセットして、講師の紹介とあいさつ	をして開始となっ	た。作り方	
	の影	説明後、簡単なクイズ	や公民館の周辺に生えている草花を採取し実験に何	吏う。		
	3	ソリカゲルの中に採取	した草花を入れ、3~5分電子レンジにかける。1	O分ほど待って取	双り出すと、	
講座を	50)~70%ほど軽くな	り、ドライフラワーが出来上がった。			
終えて	荆	瓦に詰めオイルを入れ	てもらい、ハーバリウムは完成した。その直前に	参加者一人一人で	ハーバリウ	
	Д0	D完成予想をしたり、	そのスケッチをしたりした。参加者はみな完成品	をうれしそうに笑	顔を見せて	
	持:	って帰ったことが印象	的だった。参加者からは面白かった、科学に関心な	を持ったという感	想が多く寄	
	せら	られた。				

●冬休み書初教室

事業区分	子と	子ども対象事業					
ねらい	E	日本の伝統文化である書道を通して、伝統文化に触れる重要性を学ぶとともに、心の平静と集中を高					
19001	めて、ひとつの作品を完成させることの喜びを味わう。						
対象	印旅	露地区在住の小学3年	生~6年生				
定員	1 ()人					
受講者数	10人						
受講率	1 (00%					
		実施日	内容	講師等	参加者		
プログラム	1	12月10日(土)	書道の練習、清書 最初に書いたものと最後に書いたものを比べる	徳久 和歌子	10人		
参加者合計	1()人					

	親しみやすい講師と、助手として「印旛毛筆の会」の方が4名来ていたこともあり、子どもたちがの
講座を	びのびと書初に向き合っていた。最初の1枚と、最後の1枚を比べて見て、短時間でも上手に書き上げ
終えて	られる過程を、本人も保護者も実感できた点が良かった。また、書いた本人が良くできた点と良くした
	い点を具体的に言う時間は、子どもたちの真剣さを感じることができた。

●みんなのいけばな教室

事業区分		対象事業					
	E	日本の伝統文化である生け花を通して、礼儀や作法の向上を図るとともに、四季に思いを馳せて心に					
ねらい	癒し)を感じられるように	理解を深める。また、お正月向けの草花を生ける。	ことにより、日本	らしい新年		
	 のほ	D迎え方を見直す。					
対象	市内	N在住・在勤の人					
定員	各回	120人					
受講者数	第1	□ 10人	第2回 20人				
受講率	第1	<pre>50%</pre>	第2回 100%				
		実施日	内容	講師等	参加者		
			春から初夏に見頃を迎える草花を使い、自然の				
	۱	4月30日(土)	ままの美しさを実際に目にする喜びを味わうと		10人		
プログラム	1		共に、ひとつの生け花の作品を作り上げる喜び		10%		
			を味わう。	池田 美枝子			
			お正月に向けて華やかな草花を生けることで、				
	2	12月27日(火)	年始を彩り豊かに楽しい気分で過ごすと共に、		20人		
			日本らしい新年の迎え方を味わう。				
参加者合計	30)人					
	生	Eけ花の容器は、口の	部分を切り取ったペットボトルを使い、オアシスな	を入れ吸水させる。	。ペットボ		
	トル	/全体に不織布を巻き	、マスキングテープで飾り付けをして容器が完成す	する。春から初夏	にかけて見		
	頃を	医迎える9種類の草花	を使い、順番に活けていく。終わった人から他の。	人の作品を見比べ	て意見を述		
講座を	べ合	らい、参加者の交流の	場となった。講師の方からは草花の差し方のコツや	や選び方、映える	置き方とそ		
終えて	のだ	5法等についての的確	な説明があった。第2回では、お正月を迎えるに	あたって、生け花	が日本の伝		
	統文	統文化に果たしてきた役割について講師から説明があり、とてもためになる内容であった。選ばれる題					
	材に	は、正月を迎えるにふ	さわしい、彩りが鮮やかな草花が多く、季節感に落	溢れているところ	が人気の一		
	因だ	ごと思われる。今後と	もこの講座を続けられるようにしていきたい。				

●初心者のための絵手紙教室

事業区分	大人対象事業
ねらい	絵手紙の描き方を学ぶと共に、自分が見たものを感情に素直に描き出す。教室の参加者同士の親睦を
10.50	深める。
対象	市内在住・在勤の人

定員	10人				
受講者数	6)	(
受講率	60)%			
		実施日	内容	講師等	参加者
			この時期に見頃を迎える草花や身近なものを題		
	1	6月11日(土)	材として、ありのままの美しさを描き出すとと		6人
プログラム			もに、絵手紙の基本的な描き方を学ぶ。	- - 石原 修	
			前回に引き続き、この時期に見頃を迎える草花		
	2	6月18日(土)	を題材として、ありのままを描き出し、絵手紙の		5人
			基本的な描き方を学ぶ。		
参加者合計	1 1	人			
	角	第1回は、参加者はま	ず講師から絵手紙についての説明があり、その中 ⁻	でも重要な「線」。	の書き方か
	ら手	実践にうつった。線の	濃淡や揺らぎなど、何度も練習を繰り返しても思っ	うような線が描け [、]	ず悪戦苦闘
	する	る様子が見られ、参加	者の真剣な思いが伝わってきた。次に、講師が用意	意した「ナス」と「	「ピーマン」
	を見ながら、台紙の上のはがきに描き、色を付ける。簡単だと思われた墨汁の薄め方や絵の具のにじま				
講座を	せ方なども思った以上の量の水が必要で、なかなか色が薄まらなかった。				
終えて	第2回は、講師の方に用意して頂いた「ドクダミ」のデッサンから始まり、続いて絵手紙に推す印章				
WEX C	の作成を行った。苗字・名前のいずれか1字を、消しゴムのサイズに合わせてトレッシングペーパーに				
	デサ	ザインし、それを消し	ゴムに写しカッターで掘るものだが、陰刻(文字/	ごけ彫る)と陽刻	(文字の周
	りを	と彫る) について説明	があり、それぞれやりやすいほうを作成した。陰刻	刻の方が初心者向	けのようだ
	った	E。出来上がった印章:	を自分の絵手紙の作品に押して完成となった。押す	場所ははがき面 σ)左に文字、
	右下	下に印が多いが、参加	者は空いているところを有効に使っていて、各々個	個性が見られて、面	i白かった。

●癒しのアロマ

	_	•					
事業区分	大ノ	人対象事業					
ねらい	7	アロマテラピーの基本を学びながら、自然の草花の香りを通して心と体の内面を安定させることの大					
14501	切さ	きを学ぶ。また、心の	状態が体の健康に深く結びついていることへの理解	解を深める。			
対象	市内	市内在住・在勤の人					
定員	第一	1・2回 10人	第3回 20人				
受講者数	第一	1・2回 6人	第3回 7人				
受講率	第	1.20 60%	第3回 35%				
		実施日	内容	講師等	参加者		
プログラム	1	6月22日(水)	アロマテラピーの基本を学びながら、講座の参 加者同士で親睦を深める。香りを楽しみながら、	 前田 美紀	5人		
	2	6月29日(水)	自分の内面を整えることを意識する。	即田 天和 	6人		

			アロマテラピーの基本を学びながら、講座の参		
	3	1月31日(火)	加者同士で親睦を深める。香りを楽しみながら、	前田 美紀	7人
			自分の内面を整えることを意識する。		
参加者合計	1 8	3人			
	俊	建康や生活に関する内	容であったことから関心が大きく、数日で定員に過	達したが、直前で	キャンセル
	が札	目次いだ。第1回では	、アロマテラピーの説明から入り、植物の精油成分	合を安全に使い、	心身の不調
	を利	0らげる方法を学んだ	。次に理科の実験のような蒸留を体験した。そこで	では装置に吸水さ	せたヒノキ
	のま	おが屑を詰め込み沸騰	させ、蓋のうえに氷を乗せ蒸気を冷やし、ヒノキの	の香りの蒸留水を	採った。第
	20	回では、アロマは楽し	むだけではなく、嗅覚から脳に瞬時に届きリラック	フスし、皮膚から	真皮の血管
講座を	に浸	 透しリンパ液や各臓	器に作用するといった、心身共に働きかけることを	を学んだ。マッサ	ージに使え
終えて	るス	スキンケアオイル用に	香りを選び、調合して完成したものを実際に自分の	D手に付けて体験	した。
	角	第3回では、アロマス	プレーとバスソルト(入浴剤)の2品を作った。前	前者はビーカーに	無水エタノ
	— J	レを入れた後にアロマ	オイルを入れてよく混ぜ、スプレー容器に移して気	完成となる。後者	はビーカー
	にノ	バスオイルとアロマオ	イルを入れてよく混ぜ、その中に岩塩(白、ピング	フ) を入れてしみ	こませる。
	岩均	温にすべてのオイルが	吸収されたら保存袋に入れて完成となる。参加者は	は自分だけの香り	こ満足し、
	早遠	速今日にでも使うとい	った声が聞かれた。		

●はじめての yoga

事業区分	大	大人対象事業				
ねらい	ヨガ(yoga)の基本を学びながら、心と体の内面の安定を感じるとともに、メンタルバランスの重要					
	性は	こついて学ぶ。				
対象	市区	内在住・在勤の人				
定員	20	入				
受講者数	16	6人				
受講率	80	0%				
		実施日	内容	講師等	参加者	
	1	9月27日(火)	ヨガの基本を学びながら、参加者同士親睦を深める。無理をせず、自分の内面と向き合う時間を 意識する。		16人	
プログラム	2	10月 4日(火)	前回の内容に引き続き基本的な動きを学ぶと共に、前回と同様に、無理をせず、落ち着いて行うことを意識する。		15人	
	3	10月12日(水)	これまでの講座と比較してやや難易度の高い姿勢に挑む。無理をせず、自分の内面と向き合い、 心の安定を意識する。	佐藤 洋子	7人	
	4	10月18日(火)	まとめとして、これまでの講座で学んできた姿勢を復習し、自分の内面とどれほど向き合えたかを考える。姿勢を作る際には、無理をせずに心の安定を意識してできたかを考えながら行う。		16人	

参加者合計	54人
	講師の方はポージングの最中も常にヨガ(yoga)に関する話をしていただき、和やかな雰囲気で進め
	られた。参加者はマスクをして行ったが少し息苦しい時もあり、少しマスクをずらすか外して水分補給
講座を	するなど、個人個人で上手に対応していた。そんな中でも講師はマスクをしたまま、ポーズの意味や雑
終えて	談など話しながらポーズを行っても息切れせず、特に中断することもなかった。全4回の教室終了後、
	参加者から「体の調子がよくなって心地よい」「とてもリラックスできた」等の感想が寄せられ、ヨガ
	(yoga)の楽しさや体への効果を実感できた有意義な講座となった。

●おとなの工芸教室

事業区分	大人	大人対象事業					
ねらい	É	自分の手で工作物(竹かご)を創作することで、創意工夫を促し、ひとつの作品を作り上げる喜びを					
19201	味∤	つう。					
対象	市内	対在住・在勤の人					
定員	1 ()人					
受講者数	1 ()人					
受講率	1 (00%					
		実施日	内容	講師等	参加者		
プログラム			約30本の竹ひごを使い、釘や接着剤等を一切				
	1	10月22日(土)	使うことなく、竹ひごを編み合わせることで、ひ	間野 政勝	10人		
			とつの竹かごを作り上げる喜びを味わう。				
参加者合計	10)人					
	種	重類が違う平面的な竹	ひごから立体的なかごができあがった時の喜びをえ	大人が味わうこと	ができた。		
講座を	30本もの竹ひごを一つ一つ編み込むのは細かな作業が多く、慣れない手つきで時間がかかりながらも、						
終えて	少しずつ着実に竹かごを作り上げていった。全体的に時間がかかったが講師の対応が非常に丁寧で、参						
ルベス	加老	盾は物作りの楽しさを	実感すると同時に、竹という身近な素材を使って、	ここまで美しい	かごが作れ		
	る0	Oかという驚きを隠せ	ない様子だった。				

●自力整体教室

事業区分	大人対象事業
hell	整体治療とは異なり施術を受けるのではなく、自分で慢性的な不調を改善して、病気の予防を目的と
ねらい	した自己治療法を学ぶ。また、体の状態が健康に深く結びついていることへの理解を深める。
対象	市内在住・在勤の人
定員	20人
受講者数	20人
受講率	100%

		実施日	内容	講師等	参加者	
			自分の体で、どこの部分の調子が悪いのかを見			
	1	10月29日(土)	極める。自分の体と向き合いながら、ツボを刺激		201	
	'	TOA296(I)	したり、筋肉をほぐしたりして、自然に体を治す		20%	
プログラム			力を高めていく。	· 秋田 美智子		
			前回と同様のことを行いつつ、自分自身で身体			
	2	11月 5日(土)	の歪みやコリをなくして手入れする方法を学		20人 19人 3導者のもと う。」の言葉 へ、やりやま があり、腰に	
		2 119 36(1)	び、心身のバランスを整え、健康な体にしてい		197	
			<.			
参加者合計	39	39人				
	自力整体は兵庫県出身の一人の整体師が考案したもので、日本や海外に500人ほどの指導者のもと					
	で約2万人の生徒が学んでいるという説明から始まり、「自分自身で体を整えていきましょう。」の言葉					
講座を	に参加者は深くうなずいていた。横になる状態から始め、いろいろな部位をゆらゆら揺らし、やりやす					
終えて	い方、やりにくい方を感じながら進めていった。講師が用意した「輪っかタオル」の説明があり、腰に					
ボスし	巻し	1て八の字に捻り余っ	た部分は胸に引き寄せた膝に引っ掛けてゆらゆらい	しながら使用した	り、両手に	
	持ち	5背中に掛けて揺らし	たりと幾つにも使い方があるようだった。			
	糸	冬了後、これからも続	けてやっていきたいという方が何人かいらっしゃっ	った。		

●竹あかり教室

事業区分	大人	大人対象事業				
	竹林の整備で伐採した竹を有効活用して工作物(竹灯ろう)を創作する。年末に開催することで正月					
ねらい	用の	は竹炭にもできる。このことから、参加される皆村	鎌の創意工夫を促	すだけでな		
	<.	自然資源を有効に活	用することによって、良好な自然環境を維持する。	ことの重要性を学ん	51°.	
対象	市内	内在住・在勤の人				
定員	12	2人				
受講者数	12	2人				
受講率	10	00%				
		実施日	内容	講師等	参加者	
プログラム	1	12月1日(木)	1本の竹を1節ずつ分け、表面にデザイン画を 貼り付け、ドリルで穴を開け、中に光源を入れて 完成させる。	印旛公民館職員	12人	
参加者合計	12	2人				
	亅	曼初に、竹に穴を開け	るために使われるインパクトドライバーの操作方法	よを説明し 、 用意で	された 1 本	
	の計	情竹の曲面に穴を開け	るデザインが書かれた型紙をテープで貼り付けた。	その形に沿って	慎重に穴を	
講座を	開けていく。徐々に慣れていき作業の速度は上がっていった。すべての穴を開け終わった後で、内部に					
終えて	LED ライトを入れて竹あかりが完成した。完成した竹あかりは柔らかい雰囲気をもち、ゆったりとした					
ルミスし	気分	分になれるものであっ	た。			
	>>	※講師を依頼していた	方が急病により来館できなくなったため、急遽、E	印旛公民館の職員	が講師とな	
	って	て対応した。				

●雪割草の苔玉づくり

事業区分	大人	(対象事業			
	雪割草を使って苔玉を創作する。年明けに開催することで春を待つ観賞用の飾りにできる。このこと				。このこと
ねらい	から	6、参加される皆様の	創意工夫を促すだけでなく、苔玉を育てることで	花を咲かせること	もできるた
	め、	苔の魅力を感じても	らう。		
対象	市内				
定員	1 8	3人			
受講者数	18人				
受講率	10	00%			
		実施日	内容	講師等	参加者
プログラム	1	1月26日(木)	雪割草を使って苔玉を作る。それを育てて、花を	奥田 利風	18人
	'		咲かせた苔玉を完成させる。	英田 利風	167
参加者合計	18	3人			
	聶	最初に、講師の方が説	明しながら実際に雪割草の苔玉を作った。参加者は	その作り方を一通	動り見た後、
講座を	苔玉を作り始めた。苔が楕円形になるように、作品に糸を巻いていくのには苦労した人も多かったが、				
終えて	講師の教え方がわかりやすく、また対応が非常に丁寧で、参加者は雪割草から苔玉を作ることの楽しさ				
	をほ	[‡] わうことができた。			

5. 本埜公民館

当初計画(令和4年3月公運審)	変更点等
子どもな	过象事業
1. 子ども和太鼓教室(低学年コース)	・講師の体調不良により中止
2. 子ども和太鼓教室(中高学年コース)	・講師の体調不良により中止
3. 子ども茶道教室	・講師の体調不良により中止
4. 子ども生け花教室	
5. 書き初めひろば	
6. わくわくスポーツ教室	・回数の見直し
7. ふるさと再発見	
大人対	象事業
1. 野鳥観察会	
2. わら細工講座	

●子ども和太鼓教室(低学年コース)

事業区分	子と	子ども対象事業			
ねらい	E	日本の伝統文化である	和太鼓を体験・習得する機会を提供し、将来にわれ	こって継承し発展	させること
145/1	をE	目的としている。			
対象	市内	N在住の小学1年生~	2年生		
定員	12	2人			
受講者数	9)				
受講率	75	5%			
		実施日	内容	講師等	参加者
プログラム	1	11月19日(土)	太鼓で遊ぶ、リズムに合わせ身体を動かす	出山、敦生	
	l	※中止	人以 (個の 、 ソ人口に口がは対体を割かり	出山 敦生 	_
参加者合計	_			·	

[※]区域内の小学校にチラシを配布し、参加者を募集して実施予定だったが、講師の体調不良により中止とした。

●子ども和太鼓教室(中高学年コース)

事業区分	子ども対象事業
hell	日本の伝統文化である和太鼓を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させること
ねらい	を目的としている。
対象	市内在住の小学3年生~6年生
定員	12人
受講者数	3人
受講率	25%

		実施日	内容	講師等	参加者
プログラム	1	11月19日(土) ※中止	基本的な動作、色々なリズムで打つ	出山。敦生	_
参加者合計	_				

[※]区域内の小学校にチラシを配布し、参加者を募集して実施予定だったが、講師の体調不良により中止とした。

●子ども茶道教室

事業区分	子と	ごも対象事業			
ねらい	E	日本の伝統文化である	茶道を体験・習得する機会を提供し、将来にわた・	って継承し発展さ [.]	せることを
145/1	目的	りとしている。			
対象	市内	内在住の小学生			
定員	10	10人			
受講者数	10	10人			
受講率	10	00%			
		実施日	内容	講師等	参加者
プログラム	1	9月17日(土)	表千家の基本的作法	土井 たみ子	
		※中止	衣丁多い至平町11下広	土井 たみ子	
参加者合計	_				

[※]区域内の小学校にチラシを配布し、参加者を募集して実施予定だったが、講師の体調不良により中止とした。

●子ども生け花教室

事業区分	子と	子ども対象事業			
the L	E	日本の伝統文化である	生け花を体験・習得する機会を提供し、将来にわか	たって継承し発展:	させること
ねらい	を目的としている。				
対象	市内	か在住の小学生			
定員	10)人			
受講者数	10)人			
受講率	10	00%			
		実施日	内容	講師等	参加者
プログラム	1	10月 1日(土)	- 生け花の基本を学びながら表現力を養う	菊地 愛子	9人
	2	10月15日(土)	エけんの基本を手しなから衣坑力を戻り	利地 安丁	10人
参加者合計	1 9	9人			
	1	回目は基本の形にな	るラウンド(四方から見える生け方)を学び、花に	こ高低差をつける	ことで、バ
講座を	ラン	ノスよく生けることか	「できた。2回目は、正面だけが見える生け方を学び	び、花を深く挿し	たり、浅く
終えて	挿し	挿したりで高低差をつけバランスよく生けることができた。各回とも一人ひとりの個性が表われ、素敵			
	な作	作品に仕上がった。			

●書き初めひろば

事業区分	子と	子ども対象事業						
ねらい	1	書の伝統と文化の理解	を深め尊重する態度を養い、書くことの大切さを誇	育てる。	また、書	道を通して		
14501	姿勢	望や心の落ち着きなど	を自ら体験し学ぶ。					
対象	市内	内在住の小学生						
定員	1.5	5人						
受講者数	20人							
受講率	133%							
		実施日	内容	請	師等	参加者		
プログラム	1	12月18日(日)	冬休みの宿題として出された課題の練習	小林	みどり	20人		
参加者合計	20人							
講座を	学年ごとに書き初めの課題が違うため、4グループに分け課題の練習を行った。							
終えて	刍	É使いなど丁寧に指導	していただき、書くことの大切さや楽しさを学ぶる	ことがて	できた。			

●わくわくスポーツ教室

事業区分	子と	子ども対象事業						
ねらい	4	楽しく遊びながら運動能力等を伸ばせるコーディネーショントレーニングを実施。適応力や柔軟な考						
19011	えア	ちの育成につながり、	発達が著しい時期に運動技能や能力を伸ばす。					
対象	市区	内在住の小学生						
定員	20)人						
受講者数	1.5	5人						
受講率	75	5%						
		実施日	内容	講師等	参加者			
	1	8月 6日(土)	小学生のためのコーディネーショントレーニン	順天堂大学学生				
		※中止	グ①					
	2	9月24日(土)	小学生のためのコーディネーショントレーニン		12人			
プログラム			グ②		12人			
	3	11月12日(土)	小学生のためのコーディネーショントレーニン		441			
			グ③		11人			
	4	108108(+)	小学生のためのコーディネーショントレーニン		101			
	4	12月10日(土)	グ④		13人			
参加者合計	36	5人						
講座を	ネ	 刀回は、講師の体調不	良により中止となった。2回目以降は、順天堂大	学の学生の指導に	より、フー			
	プを	プを並べてけんけんぱをしたり、鬼ごっこをしたり、ボールの投げ方を学んだあとにボッチャの試合を						
終えて	した	こり、毎回楽しみなが	ら身体を動かすことができた。					

●ふるさと再発見

事業区分	子と	子ども対象事業								
	本埜地域に残されている豊かな自然環境を子どもから大人まで多くの市民に紹介していく。身近な動									
ねらい	植物	植物と触れ合い、自然環境への関心や理解を深める機会を提供するとともに環境保全意識の向上に寄与								
	する	する。								
対象	市内	N在住の小学生と保護	者							
定員	各回	320人								
受講者数	第1	回 20人	第2回 19人 第3回	18人						
受講率	第1回 100% 第2回 95% 第3回 90%									
		実施日	内容	講師等	参加者					
	1	7月16日(土)	ホタル観察会							
プログラム	ľ	※中止	天候不良により中止	→ 単山の会	_					
	2	7月17日(日)	蝶とトンボの観察会	ECOMO						
		※中止	天候不良により中止	ECOMO						
	3	11月 5日(土)		8人						
参加者合計	87									
講座を	7	「タル観察会、蝶とト	ンボの観察会は募集を行い実施予定だったが、	両日とも天候不良に	より中止と					
終えて	なった。秋の自然観察会は、観察路を歩きながら、昆虫や木の実の説明だけでなく、クイズや葉っぱを									
ボミんし	使った遊びなどの紹介があり、本埜区域の自然を楽しく学ぶことができた。									

●野鳥観察会

事業区分	大人	大人対象事業						
ねらい	4	本埜地域に見られる野鳥を多くの市民に紹介していき、自然環境の保護・保全への関心や理解を深め						
14501	る機	幾会を提供する。						
対象	市内	四在住の人						
定員	20)人						
受講者数	1 4人							
受講率	70)%						
プログラム		実施日	内容	講師等	参加者			
	1	11月26日(土)	本埜地区内の白鳥飛来地周辺を散策	河邊 久男	10人			
参加者合計	10)人						
講座を	当日は朝から小雨が降っており、観察開始時には一時やんだものの、再び雨が降る予報だったため、							
3.3.2	急退	急遽観察コースを短くして実施した。短時間での実施となったが、スズメ、カラス、ヒヨドリ、ムクド						
終えて	リ、	白鳥など例年と大差	ない野鳥を観察することができた。					

●わら細工講座

事業区分	大人	大人事業						
ねらい	1.	Oら細工により伝統的	風習の意味や慣わしなどに触れて、物づくりの喜び	びを感じてもらう。	.			
対象	市内	在住・在勤の18歳	以上の人					
定員	12	2人						
受講者数	12人							
受講率	10	00%						
プログラム		実施日	内容	講師等	参加者			
70974	1	1月21日(土)	草鞋づくり	岩井 猛和	12人			
参加者合計	12	2人						
	伢	1年、正月飾りを作製	しているが、草鞋に初挑戦した。参加者には何度な	か中央に集まって	もらい、講			
講座を	師た	が実際に作製しながら	要点や注意事項の説明を行い、自席に戻って作製し	している中で、わ	からないと			
終えて	ころ	3は、講師・協力者の	方がサポートを行った。当初は時間の関係で、片気	足分しか作製でき	ないことも			
	想定	Eしたが、早い人は両	足分を作製することができ、物づくりの喜びを感り	じてもらえた。				

6. 中央駅前地域交流館

当初計画(令和4年3月公運審)	変更点等								
子ども対	过象事業								
1. わくわく探検隊	・事業内容の見直し								
2. 科学あそび									
《子育て支援事業》									
3. 子育てルーム事業「親子であそぼう」									
4. 季節のおもちゃ箱									
5. お誕生児集まれ									
6. 親子講座									
7. 青空ルーム									
《児童健全育成事業》									
8. にこにこハッピー									
9. すこやかキッズ									
10. ゆうぎ室であそぼう									
11. 児童ルームであそぼう									
12. あそびのポケット&スペシャル									
13. レクホールであそぼう									
14. 書き初め広場									
大人対	象事業								
1. はつらつクラブ	・事業内容の見直し								
2. 印西新発見バスツアー									
3. 体験講座「しめ縄づくり」									
4. 郷土料理講座「バラッパ饅頭づくり」	・中止								
5. 収納講座									
《子育て支援事業》									
6. ベビー講座「ベビーマッサージ」									
7. ベビー講座「ベビーダンス」									
8. パパママ講座									
9. 子育て相談									
10.子育てサークル育成・支援									
《高齢者福祉事業》									
11. 憩の家開放事業									
共催	共催事業								
1. ものづくり講座(印西おもちゃの病院との共催									
事業)									

●わくわく探検隊

	●17×17×1末1次							
事業区分	子と	子ども対象事業						
	館外学習・工作・スポーツ体験など学区・学年を超えた集団での学習を通じ、また、家庭・学校以外							
ねらい	の社会で家族や教師と異なる大人と接することで、自立性・自主性・協調性を学び、友情と考える							
	育す	٥.						
対象	市内	内在住の小学4年生~	6年生					
定員	16	6人						
受講者数	1 1	人						
受講率	69	9%						
		実施日	内容等	講師等	参加者			
			オリエンテーション	職員				
	1	5月28日(土)	運動遊びでワクワク!	順天堂大学学	10人			
			運動能力アップ!	生				
プログラム	2	6月25日(土)	絵手紙をかいてみよう	職員	7人			
	3	8月23日(火)	北総鉄道印旛車両基地見学	北総鉄道職員	9人			
	4	408458(+)		ハ゛ルーンアートサークル	C 1			
	4	10月15日(土)	バルーンアート体験	t° צם	6人			
	5	12月10日(土)	ガラス細工に挑戦(マドラー工作)	小林 茂	10人			
参加者合計	42	2人						
	鲁	普段、家庭や学校で体	験できないことを行うことで、思い出作りにもな	っている。また、	也学区、他			
講座を	学年	Fの児童同士による活	動で協調性を養うこともできている。館外学習で	は、北総鉄道の印度	旛車両基地			
終えて	にま	において車両整備の様子等について説明を聞きながら見学し、身近な公共交通機関について理解を深め						
	る貴	貴重な機会となった。						
t .	•							

●科学あそび

事業区分	子と	子ども対象事業							
hell	Ŧ	Pどもたちに身近な科	学の楽しさや関心を持ってもらうため、実験や工作	作を行う。また、	夏休みの自				
ねらい	由码	肝究のヒントにもつな	げられるようにする。						
対象	市内		~6年生						
定員	1.5	15人							
受講者数	15人								
受講率	10	100%							
		実施日	内容	講師等	参加者				
プログラム	4	8月17日(水)	トノ飛ぶ飛行機をつノスス	千葉市科学館	12人				
	l		よく飛ぶ飛行機をつくろう 	職員	127				
参加者合計	1 2	1 2人							

	千葉市科学館の職員を講師に迎えて実施した。
講座を	作った飛行機を飛ばし、どうしたらよく飛ぶか繰り返し試したり、講師にコツを確認したりしていた。
終えて	最後に誰が一番飛ばせるかを競った。広いレクリエーションホールで実施したため、子どもたちは、
	身体を動かしながら科学の楽しさを実感していた。

●子育てルーム事業「親子であそぼう」

事業区分	子と	子ども対象(子育て支援)事業							
ねらい	亲	見子で遊べる場を提供	し、子どもと親の健やかな育ちを支援していく。子	育てに関する情報	愛交換の場、				
145/1	親子	P共に友達づくりの場	とする。						
対象	市内	内在住の乳幼児と保護	 者						
定員	各時	時間枠10組程度 ①	9:00~12:00						
受講者数	6,933人								
受講率	_								
		実施日	内容	講師等	参加者				
プログラム		通年	自由あそび、たけのこ測定(身体測定)、中 庭開放、たけのこタイム(ふれあいあそび、 読み聞かせ等)	職員	6,933 人				
参加者合計	6,9	933人							
講座を終えて	lā	※2月末までの状況 ほぼ毎日定員に達し、盛況であった。たけのこタイムを通して、親子でリラックスしながら楽しんだ り、他の親子同士が交流し、誘い合って来館する姿も見られた。							

●季節のおもちゃ箱

事業区分	子ど	子ども対象(子育て支援)事業							
ねらい	季	季節の行事や伝承行事をテーマに、制作あそびやダンス、おはなしなどを地域の親子と一緒に楽しみ							
145/1	季節	を感じる。							
対象	市内	在住の乳幼児と保護	者						
定員	各回	10組(第7回40	組、第9回4	45組)					
	第1	□ 10組	第2回	10組	第3回	6組	第4回	9#	组
受講者数	第5	□ 8組	第6回	9組	第7回	32組	第8回	1 (D組
	第9	回 45組	第10回	10組	第11回	10組			
	第1	<pre>0 100%</pre>	第2回	100%	第3回	60%	第4回	9(0%
受講率	第5	0 80%	第6回	90%	第7回	80%	第8回	1 (00%
	第9回 100%		第10回	100%	第11回	100%			
		実施日		内容	3		講師等		参加者
プログラム	1	4月21日(木)	こいのぼり)			職員		22人
	2	5月20日(金)	てるてるほ	ぎうずを作ろう			東京		22人

	3	6月16日(木)	ひっくりカエル		12人	
	4	7月 5日(火)	たなばた		19人	
	5	8月 3日(水)	虫とりごっこ		19人	
	6	9月 8日(木)	お月見		20人	
	7	10月26日(水)	ハロウィン		72人	
	8	11月11日(金)	きのこ狩り		26人	
	9	12月16日(金)	クリスマスコンサート	カラフルスタ	104人	
	9			イル	1047	
	10	1月27日(金)	鬼のお面作り		22人	
	11	2月17日(金)	ひな人形作り] - 職員	22人	
	12	3月 9日(金)		吸臭		
	12	※予定	季節の製作			
参加者合計	36	0人				
講座を	% 2	月末までの状況				
終えて	人気の事業ですぐに定員に達してしまう状況であった。毎月趣向を凝らし、季節を感じられる内容の					
だんし	ため、何度も参加する親子もいた。					

●お誕生児集まれ

事業区分	子ど	子ども対象(子育て支援)事業								
ねらい	その月の誕生日児を祝い、アトラクションを見たり記念写真を撮ったりして過ごしながら成長を喜び									
10001	合う。									
対象	市内	市内在住のその月の誕生児とその保護者								
定員	各回	10組								
	第1	回 9組	第2回	6組	第3回	10組	第4回	2組		
受講者数	第5	□ 6組	第6回	7組	第7回	5組	第8回	4組		
	第9	□ 9組	第10回	8組	第11回	5組				
	第1	0 90%	第2回	60%	第3回	100%	第4回	20%		
受講率	第5	<pre>60%</pre>	第6回	70%	第7回	50%	第8回	40%		
	第9	0 90%	第10回	80%	第11回	50%				
		実施日		内容	3		講師等	参加者		
	1	4月28日(木)						17人		
	2	5月26日(木)					16人			
	3	6月30日(木)		誕生児紹介、アトラクション、記念撮影等				20人		
プログラム	4	7月14日(木)						4人		
	5	8月25日(木)	誕土元和)	i、アドラシシ	コン、 i し i 必 f	取永守	職員	15人		
	6	9月29日(木)						20人		
	7	10月20日(木)						11人		
	8	11月24日(木)						8人		

	9	12月22日(木)				23人
	10	1月27日(金)				15人
	11	2月22日(水)				10人
	12	3月16日(木)				
参加者合計	159人					
講座を	※2月末までの状況					
神座を 終えて	開催日により参加人数は異なったが、誕生児以外の参加もあり、子どもの成長を喜び合うことができ					
だんし	た。					

●親子講座

事業区分	子と	子ども対象(子育て支援)事業							
ねらい	講師を招き親子で楽しめる講座を行い、親子で楽しさを共有することで子育ての楽しさを感じてもら								
14501	える	るようにする。							
対象	市内	内在住の乳幼児と保護	者						
定員	各回	回8組(第3回10組)						
受講者数	第~	1回 8組	第2回 7組	第3回	8組	第4回 8	组		
受講率	第~	10 100%	第2回 88%	第3回	80%	第4回 1	00%		
		実施日		内容		講師等	参加者		
	1	6月17日(金)	いろいろリトミック			戸田 ちかこ	16人		
プログラム	2	9月 7日(水)	いろいろリトミック			戸田 ちかこ	14人		
	3	10月 5日(水)	 絵本講座			木刈親子読書	101		
						会	19人		
	4	1月25日(水)	いろいろリトミック			戸田 ちかこ	17人		
参加者合計	66人								
講座を	7	希望する方が多く、毎回すぐに定員に達してしまう状況であった。講座を通して親子でともに楽しむ							
終えて	姿だ	姿が多くみられた。							

●青空ルーム

事業区分	子ども対象(子育て支援)事業						
to E L	迁	近隣の公園に出向くことで、子育てルームの存在を知ってもらい、遊びにくるきっかけづくりをする。					
ねらい	また	また、親子や地域の友だちと一緒に楽しいひと時を過ごせる交流の場となるようにする。					
対象	市内	N在住の乳幼児と保護	者				
定員	自由	自由参加					
受講者数	_	_					
受講率	_	_					
プログラム		実施日	内容	講師等	参加者		
プログラム	1	4月27日(水)	雨天により中止	職員	_		

	2	5月2	27日(金)	日(金) 雨天により中止		_
3 6月 9日(木) 4 10月 6日(木)		9日(木)	ボール・ループ、シャボン玉、エプロンシアター		18人	
		6日(木)	雨天により中止		_	
	5	11月	4日(金)	どんぐり拾い		29人
	6	3月1	15日(水)	未定		
		*3	定	术 足		
参加者合計	47	47人				
	* 2	※2月末までの状況				
講座を	雨天により中止となった回もあったが、天候に恵まれた回では多くの参加があった(現地集合・解散					
終えて	の自由参加)。花の丘公園で親子ともに楽しむことができ、「青空ルーム」の存在や機能についても周知					
	する	することができた。				

●にこにこハッピー

事業区分	子と	子ども対象(児童健全育成)事業						
わらい	親子で一緒に歌や手遊び、リズム遊び、簡単制作等を通して遊ぶことの楽しさを味わう。また、同学							
ねらい	年の親子が関わり、友達を作ったり保護者同士の情報交換の場として活用してもらう。							
対象	市内	N在住の1歳児と保護	者					
定員	各[010組						
受講者数	第1	□ 10組	第2回	9組	第3回	5組		
文語日刻	第△	1回 8組	第5回	6組				
受講率	第1	<pre>0 100%</pre>	第2回	90%	第3回	50%		
文碼学	第△	10 80%	第5回	60%				
		実施日		内容		講師等	参加者	
	1	5月19日(木)	出席ブック作り				20人	
プログラム	2	7月 7日(木)	タオルあそび				18人	
	3	9月22日(木)	運動あそび			職員	10人	
	4	11月17日(木)	リズムあそび				16人	
	5	2月16日(木)	お買い物ごっこ				13人	
参加者合計	77人							
講座を	親子一緒にさまざまな活動を楽しむ姿が見られた。年間でメンバーを固定したので、同学年の親子が							
終えて	関わり、参加者同士の交流をもつことができた。							

●すこやかキッズ

事業区分	子ども対象(児童健全育成)事業
hell	親子で一緒に歌や手遊び、リズム遊び、簡単製作等を通して遊ぶことの楽しさを味わう。また、同年
ねらい	齢の親子が関わり、友達づくりや保護者同士の情報交換の場として活用してもらう。
対象	市内在住の2歳児と保護者

定員	各回	010組						
₩₩₩	第1	10 8組	第2回	8組	第3	3回 9組		
受講者数	第4	10 7組	第5回	9組				
≖₩	第1	10 80%	第2回	80%	第3	30 90%		
受講率	第4	10 70%	第5回	90%				
		実施日		内容		講師等	参加者	
	1	5月24日(火)	出席ブック作り				16人	
プログラム	2	7月12日(火)	ふわふわタオルあ	そび			16人	
	3	9月13日(火)	運動あそび			職員	17人	
	4	11月 8日(火)	リズムあそび				15人	
	5	2月21日(火)	お買い物ごっこ				20人	
参加者合計	84	84人						
講座を	左	年間でメンバーを固定し親子で楽しめるものを準備した。一年を通して、一人ひとりの成長がみられ						
終えて	る事	掌となった。						

●ゆうぎ室であそぼう

事業区分	子ど	子ども対象(児童健全育成)事業									
ねらい	体	体を動かして遊べるよう、親子でのびのびと過ごせる場を提供する。									
対象	市内	市内在住の乳幼児と保護者									
定員	各回	Name									
	第1		4組	第2回	7組	第3回	6組	第4回	3組		
	第5		6組	第6回	8組	第7回	8組	第8回	6組		
受講者数	第9		8組	第10回	8組	第11回	5組	第12回	8組		
	第1	30	5組	第14回	8組	第15回	8組	第16回	8組		
	第1	70	7組	第18回	8組	第19回	8組				
	第1		50%	第2回	88%	第3回	75%	第4回	38%		
	第5		75%	第6回	100%	第7回	100%	第8回	75%		
受講率	第9		100%	第10回	100%	第11回	63%	第12回	100%		
	第1	30	63%	第14回	100%	第15回	100%	第16回	100%		
	第1	70	7組	第18回	100%	第19回	100%				
			実施日		内容	3		講師等	参加者		
	1	4	月14日(木)						10人		
	2	4	月26日(火)						17人		
プログラム	3	5	5月13日(金)	垂田二目	すべり台、ト	ンクルーボっ	_ 11.たどた		12人		
	4	5	5月31日(火)		9へり合、下. を動かして遊ぶ。		-ルなこを	職員	7人		
	5	6	6月10日(金)	皮い才体で	ままり、ひてぼり。				13人		
	6	6	6月28日(火)						16人		
	7	7	7月 1日(金)						17人		

11人 17人					
17人					
17人					
11人					
19人					
10人					
17人					
19人					
19人					
14人					
17人					
17人					
人					
人					
となり、					
親子でのびのびと過ごせた。					

●児童ルームであそぼう

事業区分	子ども対象(児童健全育成)事業							
ねらい	子どもが安心できる遊び場、学習の場を提供する。他学区・他学年の子ども同士が交流できる場を提							
10001	供し	_ノ て、友達づくりのき	っかけをつくる。様々な遊びに自発的に取り組める	るよう支援する。				
対象	市内	内在住の小学生~18	歳未満					
定員	各問	各時間枠30人 ①9:00~12:00 ②13:30~16:45						
受講者数	2,404人							
受講率								
プログラム		実施日	内容	講師等	参加者			
70974		通年	児童ルーム、学習コーナー、図書コーナーの開放	職員	2,404 人			
参加者合計	2,4	404人						
講座を	※2月末までの状況							
3.3.2	安全に遊べる玩具を増やしたり、月毎に異なる制作を準備するなど、様々な遊びを提供していく中で、							
終えて	子と	ごもたちは工夫して遊	びを発展させ楽しんでいた。					

●あそびのポケット&スペシャル

事業区分	子と	ざも対象(児童健全育	· [成) 事業							
to E L	簡単な工作や手芸、実験遊びを行い、交流館を知るきっかけをつくる。簡単で身近な素材を使って、									
ねらい	 家庭ではあまり経験のできないことを体験しながら、他学区・他学年の子どもたちとの交流も楽しむ。									
対象	市内	市内在住の小・中学生								
定員	各回	10人								
	第1	回 9人	第2回 7人	第3回	10人					
受講者数	第4	1回 8人	第5回 9人	第6回	3人					
	第7	7回 6人	第8回 一人	第9回	10人					
	第1	0 90%	第2回 70%	第3回	100%					
受講率	第4	10 80%	第5回 90%	第6回	30%					
	第7	70 60%	第8回 一%	第9回	100%					
		実施日	内容		講師等	参加者				
	1	4月 9日(土)	エコバック作り		職員	9人				
	2	6月 4日(土)	サンキューカード作り		職員	7人				
	3	7月29日(金)	【スペシャル】タイヤのない自動車	車作り	小林 茂	10人				
	4	8月 6日(土)	【スペシャル】ドラムサークル		健康増進課職	10人				
プログラム	5	8月18日(木)	【スペシャル】アロマうちわ		※ 小作 真佐美	9人				
	6	10月29日(土)	Let's enjoy English			3人				
	7	12月 3日(土)	絵手紙		職員	6人				
	8	1月21日(土)	【スペシャル】運動あそび ※「レクホールであそぼう」合同	早催	保育課職員	一人				
	9	1月28日(土)	【スペシャル】レゴシリアスプレー	1	榎本 美紅	10人				
参加者合計	64人									
講座を	Ę	身近な素材を使ったエ		ルなどを行うロ	中で、他学区の子	どもたちの				
終えて	交流	流が図れた。後半、周	知の方法を工夫(スクリレを活用)	したことで多く	くの児童が参加した	I.o.				

●レクホールであそぼう

事業区分	子ども対象(児童健全育成)事業
	①親子で思いきり体を動かして遊べる場を提供し、地域の親子の交流を楽しめるようにする。また、父
ねらい	親の育児参加の機会になるような遊びを用意する。
19011	②レクホールでバドミントン、ボールなどの遊具を提供し、思い切り体を動かせる場を提供する。あそ
	びを通して、他学区、他学年の友達との交流を持つきっかけをつくる。
対象	①市内在住の幼児と保護者
刈家	②市内在住の小・中学生
定員	①25組 13:15~14:15
上 上 上	②25人 14:30~16:00

	第1		①1組	28	3人	第2回	①2組	②4人	第3	30	①1組	②2人
☆誰老粉	第4		①0組	24	4人	第5回	①1組	②9人	第6	60	①6組	②7人
受講者数	第7		①2組	22	2人	第8回	①3組	②9人	第9	90	①2組	②9人
	第1	00	①中止	24	40人	第11回	①4組	②11人				
	第1		14%	23	32%	第2回	18%	216%	第3	30	14%	28%
受講率	第4		10%	2	16%	第5回	14%	236%	第6	60	124%	228%
文神平	第7		18%	28	3%	第8回	112%	236%	第9	90	18%	236%
	第1	00	①中止	2	133%	第11回	116%	244%				
			実施日				内容			i	講師等	参加者
	1	4	月16日(±)								10人
	2	5	月21日(土)								10人
	3	6	6月18日(土)							5人	
	4	7	7月30日(土)								2人
	5	8	8月20日(土)		で体を動かして楽しもう				11人		
プログラム	6	9	月10日(土)	みんたつ				 職員		20人	
	7	1 C	月15日(土)	051012	て体で到りて) (* 00.			柳矢	` 	10人
	8	11	月19日(土)								21人
	9	12	2月17日(土)								14人
	10	1	月21日(土)								40人
	11	2	2月 4日(土)								23人
	12	3	8月18日(土)								
参加者合計	16	6人										
講座を	月	により	0参加人数(こばら	らつきがつ	でた。より針	多くの方に参	参加してもらい	ハレ!	フホー	ルの楽しさる	を味わって
終えて	いた	だける	るよう、周知	刊の 7	う法をエラ	夫したい。						

●書き初め広場

事業区分	子と	子ども対象(児童健全育成)事業								
then	2	冬休みの課題である書初めを講師指導のもと書きあげる。書道に対する関心を深めるとともに、他学								
ねらい	፟ 区・	・他学年の子と一緒に	交流を深めていく場を提供する。							
対象	市内	市内在住の小・中学生								
定員	16	16人								
受講者数	7人									
受講率	44	44%								
プログラム		実施日	内容	講師等	参加者					
70974	1	12月24日(土)	書き初め	蟹江 晶子	8人					
参加者合計	8人									
講座を	í	全員が書き初めを書き上げることができた。書道に対する関心を深めるとともに、他学区・他学年の								
終えて	子と	ニー緒に交流を深めて	いくことができた。							

●はつらつクラブ

事業区分	大人	大人対象事業								
ねらい	運動、ものづくりなど様々な体験を通して、心と体で楽しくふれあい、生きがいづくり、仲間づくり									
19011	のき	のきっかけにする。								
対象	市内		以上の人							
定員	20)人								
受講者数	1 2	2人								
受講率	60)%								
		実施日	内容	講師等	参加者					
	1 6	6月 1日(水)	オリエンテーション	健康増進課職 11						
			歯の健康を守る口腔ケア	員	117					
プログラム	2	2	7月27日(水)	 健康体操	高齢者福祉課	78				
		/月2/日(水)	(建)家 (学)茶	職員	87					
	3	8月23日(火)	北総鉄道印旛車両基地見学	北総鉄道職員	8人					
	4	10月26日(水)	三味線鑑賞	北村 貴徹	10人					
	5	12月14日(木)	しめ縄作り	豊田 光信	7人					
参加者合計	44	44人								
講座を		「北総鉄道印旛車両基	地の見学」は、わくわく探検隊と合同で実施し、人	小学生との世代間?	交流を図る					
神座を 終えて	こと	ことができた。年間の事業を通して、普段の生活でなかなか体験できないことを行うことで、仲間づく								
だんし	りて	りや生きがいづくりにつながった。								

●印西新発見バスツアー

事業区分 大人対象事業 市内の旧跡等を見学し、自分たちのまちで新たな発見や歴史を学び、ふるさと印西を見つめ								
1 (4,0), 1	てもらう。							
印西の良さを新たに実感することを目的とする。								
対象 市内在住・在勤の18歳以上の人								
定員 20人	20人							
受講者数 20人	20人							
受講率 100%	100%							
プログラム 回 実施日 内容 講師等	参加者							
1 9月9日(金) 順天堂大学さくらキャンパス見学 涌井 佐和子	17人							
参加者合計 17人	17人							
講座を なかなか見学することができない大学の内部を見ることができ参加者は喜んでいた。世界的	なかなか見学することができない大学の内部を見ることができ参加者は喜んでいた。世界的な有名選							
終えて 手を輩出している大学だけに、歴史や施設整備の充実さを感じた。	手を輩出している大学だけに、歴史や施設整備の充実さを感じた。							

●体験講座「しめ縄づくり」

事業区分	大人	大人対象事業							
ねらい	1	わらにより正月飾りを作りながら、伝統的風習の意味や慣わしなどに触れる。							
対象	市区	市内在住・在勤の18歳以上の人							
定員	1.5	15人							
受講者数	13	13人							
受講率	87	87%							
プログラム		実施日	内容	講師等	参加者				
	1	12月7日(水)	しめ縄づくり	豊田 光信	12人				
参加者合計	12	12人							
講座を	1	わらにより正月飾りを作りながら、伝統的風習の意味や慣わしなどに触れることができた。広報いん							
終えて	ざい	1令和5年1月1日号	の表紙に掲載された。						

●郷土料理講座「バラッパ饅頭づくり」

事業区分	大人	大人対象事業								
ねらい	比	地域伝統のバラッパ饅頭を作り、地元の文化に触れる。								
対象	市内	市内在住の20歳以上の人								
定員	12	2人								
プログラム		実施日	内容等	講師等	参加者					
70774	1	中止	バラッパ饅頭づくり	山﨑 一枝						

[※]コロナ禍で飲食を通しての感染リスクが高いことから、講師と相談のうえ中止とした。

●収納講座

事業区分	大人	大人対象事業					
ねらい	収	双納片付けのコツを学	Sī.				
対象	市内	在住・在勤の18歳	以上の人				
定員	20)人					
受講者数	20	20人					
受講率	10	100%					
プログラム		実施日	内容等	講師等	参加者		
70974	1	2月28日(火)	ものの処分・整理・収納のコツを学ぶ	長友 舞	18人		
参加者合計	18	3人					
講座を	自	前半は座学にてものの処分・整理・収納のコツを学び、後半はシャツの畳み方等を実践した。受講者					
終えて	はき	8自の家を想定しなが	ら、収納のコツを学ぶことができた。				

●ベビー講座「ベビーマッサージ」

事業区分	大ノ	大人対象(子育て支援)事業							
ねらい	低年齢向けに子育てルームの利用のきっかけとなるような事業を行う中で、親子でふれあいながら遊								
19211	1310	ぶことの楽しさを感じ、また、利用者同士が地域に友達を作る場とする。							
対象	市内	N在住の3か月~10	か月の乳児とその保護者						
定員	各回	18組							
₩ ₩	第1	回 8組	第2回 8組	第3回 7組					
受講者数	第4	10 8組	第5回 6組	第6回 6組					
巫 謙安	第1	<pre>0 100%</pre>	第2回 100%	第3回 88%					
受講率	第4	100%	第6回 75%						
		実施日	内容	講師等	参加者				
	1	4月19日(火)	ベビーマッサージ		16人				
	2	6月21日(火)	ベビーマッサージ		16人				
プログラム	З	9月17日(土)	パパのベビーマッサージ		20人				
	4	11月15日(火)	ベビーマッサージ	女膝 吸了	16人				
	5	1月24日(火)	ベビーマッサージ		12人				
	6	2月18日(火)	パパのベビーマッサージ		17人				
参加者合計	97	7人							
講座を		マッサージに反応し気持ち良さを感じて眠ってしまう子も多く、マッサージを行っている母親もうれ							
終えて	しる	そうであった。子育て	相談では、みんなで共感しあえるものも多く、私	有意義な内容となっ	た。				

●ベビー講座「ベビーダンス」

事業区分	大人	大人対象(子育て支援)事業							
ねらい	低年齢向けに子育てルームの利用のきっかけとなるような事業を行う中で、親子でふれあいながら遊								
14501	ぼに	ぶことの楽しさを感じ、また、利用者同士が地域に友達を作る場とする。							
対象	市内	内在住の3か月~1歳	の乳児とその保護者						
定員	各回	08組							
受講者数	第1	1回 8組	第2回 5組						
受講率	第1	100%	第2回 63%						
		実施日	内容	講師等	参加者				
プログラム	1	6月24日(金)	ベビーダンス	│ │ 柳 由美子 	16人				
	2	10月22日(土)	パパのベビーダンス		15人				
参加者合計	31	人							
悪麻ち	子どもを抱いてスキンシップを図りながらリズミカルに踊ることにより、運動不足解消やリフレッシ								
講座を 終えて	ュュ	ュすることができ、子どもも気持ちよさそうだった。腰の高い位置での抱っこの仕方を教えてもらい、							
ボスし	参加	『者からは「楽になっ	た」と好評であった。						

●パパママ講座

事業区分	大ノ	大人対象(子育て支援)事業							
ねらい	趣味的な講座でリフレッシュしたり、子育ての知識を得たり、悩みを共有したりできる講座で、子育								
19011	てを楽しめるようにする。								
対象	市内	内在住の子育て中の父	親、母親						
定員	各回	010組							
受講者数	第1	1回 10組	第2回 8組 第	3回 9組					
文碑有数	第4	1回 5組	第5回 10組 第	60 6組					
巫 謙泰	第1	100%	第2回 80% 第	30 90%					
受講率	第4	10 50%	第5回 100% 第	60 75%					
		予定月	内容	講師等	参加者				
	1	5月18日(水)	産後ママのストレッチピラティス	土井 さやか	16人				
	2	8月 9日(火)	歯磨き講座	職員	17人				
プログラム	3	9月16日(金)	離乳食講座	職員	20人				
	4	11月 6日(日)	パパのコアトレーニング	土井 さやか	15人				
	5	1月19日(木)	ロゼット作り	佐藤 公子	20人				
	6	2月15日(日)	産後ママのストレッチピラティス	土井 さやか	13人				
参加者合計	10)1人							
講座を	盲	普段運動をする暇のな	い受講者にとってストレッチピラティスは体を動	かす良い機会となっ	った。				
	=	また、歯磨きや離乳食	についてケアや実施方法等の詳しい説明と相談に	より知識を得るこ	とができ、				
終えて	保護	護者同士の情報交換の	場にもなった。						

●子育て相談

事業区分	大人対象(子育て支援)事業										
	Ŧ	子育ての悩みや育児について相談できるような体制を整える。家庭や母親の情緒面に支援が必要と判									
ねらい	断し	<i>し</i> たときは、保健セン	ター、児童家庭相談員、子ども発達センターなど	各機関と連携、協	カを図り支						
	援し	していく。									
対象	市内	N在住の未就学児を持	つ保護者								
定員	_										
受講者数	58人										
受講率	_										
		予定月	内容	講師等	参加者						
				職員							
 プログラム				子育てコンシ							
		通年	子育ての悩みや育児についての相談	ェルジュ	58人						
				健康増進課保							
				健師							
参加者合計	58	3人									

講座を	※2月末までの状況
終えて	子育ての悩みや育児について気軽に相談できる雰囲気作りと体制を整え、相談を受けている。

●子育てサークル育成・支援

事業区分	大人	大人対象(子育て支援)事業						
ねらい	亲	親にとって育児が楽しいと感じられるように母親同士でサークルを立ち上げ、計画を作成し、活動で						
19201	きる	るように助言や支援を	していく。					
対象	市区	内在住の未就学児を持	つ保護者					
定員	_	_						
受講者数	0人							
受講率	_							
プログラム		実施日	内容	講師等	参加者			
70774		通年	子育てサークル育成・支援	職員	0人			
参加者合計	0)		•					
講座を	* 2	※2月末までの状況						
終えて	+	ナークルの立ち上げや	計画作成、活動の助言や支援をしていく相談体制	を整えている。				

●憩いの家開放事業

事業区分	大人対象(高齢者福祉)事業						
to E L	カラオケや高齢者クラブの会合など高齢者の憩いの場やレクリエーションの場として提供すること						
ねらい	で、	生きがいづくり、仲	間づくりのきっかけにする。				
対象	市内	対在住の60歳以上の	<u>, </u>				
定員	同時	時に使用できるのは1	4人まで				
受講者数	1,564人						
受講率	_						
→ n n = 1		実施日	内容	講師等	参加者		
プログラム 		通年	憩いの家の開放	_	1,564 人		
参加者合計	1,5	564人					
	% 2	2月末までの状況					
講座を	į	高齢者のレクリエーシ	ョンの場として、憩いの家のカラオケ設備を開放	している。利用者に	には、感染		
終えて	症防	症防止対策の徹底にご協力をいただいている。毎日来館される方もおり、生きがいづくりに繋がってい					
	る。						

●ものづくり講座(印西おもちゃの病院と共催)

事業区分	共催事業								
ねらい	Ē	子どもたちのものづくり活動を通して、アイデアを具体化する技術能力や創造性を育む。							
対象	市内	国在住の小学5年	₹生~	6 年生					
定員	1 2	2人							
受講者数	12	2人							
受講率	10	00%							
		実施日		内容	講師等	参加者			
	1	6月 5日	(日)	開講式 工作の基本を学ぼう、各種工具の使い方		11人			
	2	7月 3日	(日)	「手づくりモーター」		10人			
プログラム	3	8月21日	(日)	発電の仕組「手まわし発電機」	印西おもちゃ	9人			
	4	9月 4日	(日)	「モーターを使った工作」気まぐれアシカ	- の病院	9人			
	5	10月 2日	(日)	磁石を使ったからくり工作	דעןפאנט	10人			
	6	11月 6日	(日)	「飛行機を飛ばそう」		9人			
	7	12月 4日	(日)	「ゲルマニュウムラジオ」		10人			
	8	1月 8日	(日)	「かんたんな工作」		9人			
参加者合計	77	7人							
講座を終えて	── 「での間に補講を行うことで、進捗状況に差が出ないように対応していた。年間を通して技術能力や創								

7. 主催事業月別参加者数

令和5年2月までの主催事業の参加者数は次のとおりとなる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
中央	0	49	59	84	26	33	25	40	23	0	0	339
R3	О	14	59	25	31	15	62	54	45	0	0	305
(前年度比)	0	35	0	59	▲ 5	18	▲ 37	▲ 14	▲ 22	0	Ο	34
小林	14	32	57	45	14	11	0	0	0	0	0	173
R3	0	21	39	48	16	0	54	23	18	59	0	278
(前年度比)	14	11	18	▲ 3	A 2	11	▲ 54	▲ 23	▲ 18	▲ 59	0	▲ 105
そうふけ	0	0	15	40	26	0	0	0	20	46	20	167
R3	О	0	0	0	0	0	Ο	O	0	0	0	0
(前年度比)	0	0	15	40	26	0	0	0	20	46	20	167
印旛	10	0	22	58	21	16	68	19	42	25	0	281
R3	O	11	9	73	22	14	59	O	32	9	0	229
(前年度比)	10	▲ 11	13	▲ 15	▲ 1	2	9	19	10	16	0	52
本埜	0	0	0	0	0	12	19	29	33	12	0	105
R3	0	0	0	11	0	0	6	27	31	0	0	75
(前年度比)	0	0	0	▲ 11	0	12	13	2	2	12	0	30
駅前	920	896	1,201	1,276	1,179	1,335	1,258	1,175	1,151	1,143	1,187	12,721
R3	940	958	1,103	999	722	644	1,064	906	893	882	866	9,977
(前年度比)	1 20	▲ 62	98	277	457	691	194	269	258	261	321	2,744
計	944	977	1,354	1,503	1,266	1,407	1,370	1,263	1,269	1,226	1,207	13,786
R3	940	1,004	1,210	1,156	791	673	1,245	1,010	1,019	950	866	10,864
(前年度比)	4	▲ 27	144	347	475	734	125	253	250	276	341	2,922

※小林公民館はR4.10~R5.9 まで休館

≪団体育成事業≫

各公民館等においては、利用サークル等が自主的かつ円滑な学習が行えるよう指導及び支援を行っている。依然としてコロナ禍にあるが、感染拡大防止対策等を行うことで、各サークルの活動はほぼコロナ禍前の水準と同様に戻ってきている状況である。

しかしながら、毎年、各公民館等利用サークル連合組織が主体となって開催している「まつり」については、開催時期やサークルの事情等により、開催の有無等状況は異なるものとなっている。

また、令和4年10月から、小林公民館の保全改修工事が着工されることから、当該公民館で活動していたサークルに対しては、他の公民館等を利用するよう指導及び支援を行った。

●公民館まつりの実施状況

・中央公民館…みなづき祭

展示:6月18日(土)~6月26日(日)

発表: 6月19日(日)

来場者: 429人

※コロナ禍前は、土日2日間で展示・発表を集中して行っていたが、感染拡大防止等を考慮し、開催規模を縮小し、上記の開催となった。

- 小林公民館…小林コミュニティプラザ保全改修工事のため中止
- ・そうふけ公民館…ふれあい文化館まつり

展示・発表・催事:11月12日(土)~11月13日(日)

※一部のサークル展示は11月12日(土)~11月25日(金)

来場者:288人

- 印旛公民館…新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
- ・本埜公民館…新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
- 中央駅前地域交流館…新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
- ●令和4年度各公民館等利用サークル連合組織状況(令和5年2月末現在)
 - ・中央公民館利用サークル懇談会30団体※主催事業「健康体操」受講者を中心に、「健康体操サークル」を立ち上げた。
 - ・ 小林コミュニティサークル連絡協議会… 16団体
 - ・そうふけ公民館利用サークル協議会…20団体
 - ・ 印旛公民館利用サークル協議会… 15団体
 - ・本埜公民館サークル連絡協議会…20団体
 - 中央駅前地域交流館利用団体懇話会…35団体

中央公民館利用サークル懇談会

番号	団体名	活動内容	活動日	活動時間	会員数
1	印西ウインドアンサンブル	吹奏楽	毎週水・土曜	18:00~21:00	39
2	印西山野草の会	山野草栽培•研究	隔月第3土曜	18:00~20:00	11
3	印西写楽	写真	第3土曜	13:00~17:00	9
4	印西女声合唱団	女性コーラス	第1~4水曜	9:00~12:00	10
5	印西太極拳同好会	太極拳	第1~4火・日曜	9:00~12:00	26
6	印西盆栽愛好会	盆栽栽培•研究	第2金曜	9:00~15:00	20
7	絵てがみの会	絵てがみ	第2火曜	10:00~12:00	8
8	おむすび会	家庭料理	第4金曜	9:00~14:00	13
9	火陶会	陶芸	第2・4火曜	9:00~17:00	5
10	カトレア ヨガの会	ヨーガ	第1~4金曜	14:00~16:00	6
11	カレイナニ フラ プルメリア	フラダンス	第1~4木曜	13:00~17:00	14
12	木下手賀野俳句会	俳句	第3日曜	13:00~17:00	9
13	きおろし囃子保存会	 囃子 	毎週土曜	19:00~21:00	5
14	健康呼吸法の会	丹田呼吸法	毎週金曜	9:30~11:00	11
15	秋桜コーラス	コーラス	第1・3・4木曜	10:00~12:00	12
16	こすもす短歌会	 短歌 	第3日曜	10:00~13:00	9
17	古文書学習・尚史会	古文書読解	第1・3木曜	9:00~16:00	10
18	彩々会	絵画	第2・4日曜	13:00~16:00	3
19	ささのは会	素話	第2土曜・第4木曜	13:00~17:00	5
20	詩吟愛好会	詩吟	第1~4火曜	14:00~16:00	5
21	ヨガ友サークル	ヨーガ	毎週水曜	19:00~21:00	5
22	水辺短歌会	短歌	第1日曜	13:00~16:00	8

23	チェリー	音楽	第3火曜	13:00~16:00	5
24	陶遊会	陶芸	第1・3火曜、 第2・4水曜	9:00~17:00	12
25	バルーンアートサークル ピッコロ	バルーンアート	第1水曜、 不定日曜	12:00~17:00 9:00~12:00	25
26	ミックスジュース	エアロビクス	毎週木曜	10:00~13:00	5
27	紫会	茶道(裏千家)	第2火曜	9:00~13:00	5
28	自力整体サークル	自力整体	第2~4金曜	14:00~17:00	19
29	トナ会	自己啓発	第3水曜	10:00~12:00	15
30	健康体操サークル	健康体操	第1・3木曜	9:00~12:00	21

小林コミュニティサークル連絡協議会

番号	団体名	活動内容	活動日	活動時間	会員数
1	あじさいの会	大正琴	第2・4水曜	9:00~13:00	5
2	小林カラオケ華の会	カラオケ	第2・4金曜	13:00~17:00	10
3	リンギング・ハート	ミュージックベル	第1・3木曜	9:00~12:00	12
4	さくらコーラス	合唱	第1・3木曜	13:00~16:00	17
5	マーガレットの会	健康体操	毎週水曜	10:00~12:00	12
6	 小林貯筋サークル 	健康体操	毎週火曜	9:00~12:00	52
7	小林太極拳同好会	太極拳	毎週土曜	9:00~12:00	14
8	小林親子読書会かたつむり	読書活動	第2水曜	10:00~12:00	15
9	小林石友会	囲碁	毎週土曜	13:00~17:00	16
10	秋桜会	日本画	第2・4木曜	13:00~17:00	6
11	 小林洋画クラブ 	洋画	第1・3土曜	13:00~17:00	15
12	絵てがみの会	絵手紙	第2土曜	14:00~16:00	7
13	小林パソコン同好会	パソコン	毎週金曜	9:00~12:00	13
14	印西歷史愛好会	歴史研究	第3日曜	10:00~12:00	20
15	印西太極拳 牧の里クラブ	太極拳	第 2~4木曜	10:00~12:00	7
16	小林シニア男声合唱団	合唱	第1・3金曜	13:00~15:00	16

印西市立そうふけ公民館利用サークル協議会

番号	団体名	活動内容	活動日	活動時間	会員数
1	グルッポサノ	ストレッチ体操・ フラメンコ	第1~4火曜	13:00~17:00	14
2	エアロナオミ	エアロビクス	第1~4木曜	10:00~12:00	17
3	キャンパスの会	油絵	第1~4金曜	9:00~13:00	13
4	山百合短歌会	短歌	第2木曜	10:00~13:00	12
5	生花倶楽部	生け花	第2・4木曜	10:00~13:00	8
6	印西市ユニカール協会	ユニカール	毎週金曜	13:00~16:00	27
7	ダンベル&フィットネス	 ダンベル体操 	第1~4木曜	13:00~15:00	13
8	印西絵手紙の会	絵手紙	第2・4火曜	9:00~13:00	13
9	サークル桐	筝	第2土曜	9:00~13:00	10
10	千葉ニュータウンフィルハーモ ニーオーケストラ	オーケストラ	土曜か日曜 (月4回)	13:00~17:00	25
11	ハーラウフラカレイ ナニレフア	フラダンス	第1~4金曜	9:00~11:00	14
12	ミュージカルカンパニー 「いちごハウス」	ミュージカル	第1~5日曜 (月4回)	13:00~17:00	65
13	大正琴ハーモニー	大正琴	第1・3金曜	13:00~16:00	6
14	Ace印西	ダンス	第1~4水曜	18:00~21:00	15
15	フローラルデザイン	ワンストローク ペインティング	第1・3火曜	13:00~16:00	6
16	ハーラウフラカレイ ナニロケラニ	フラダンス	第1~4金曜	10:00~13:00	7
17	Ace#3	ダンス	第1~4水曜	16:00~18:00	17
18	ドラムピース	打楽器リズム遊び	不定期 土曜 (月1回)	9:00~12:00	5
19	ダンシングキャッツ草深	モダンバレエ ヒップホップ	不定期 水曜 (月3回)	16:00~20:00	12
20	1 s t(ファースト)	キッズダンス	不定期(月2回)	18:00~20:00	16

印西市立印旛公民館利用サークル協議会

番号	団体名	活動内容	活動日	活動時間	会員数
1	和太鼓クラブ 鼓友会	和太鼓	毎週金曜	19:00~21:00	13
2	いには野卓球クラブ	卓球	毎週火曜	9:00~12:00	10
3	絵画サークル	絵画	第2・4木曜	9:00~13:00	7
4	竹細工サークル(昼の部)	竹細工製作	毎週木曜	13:00~17:00	7
5	竹細工サークル(夜の部)	竹細工製作	毎週木曜	18:00~21:00	5
6	ヘルススマイル卓球クラブ	卓球	毎週土曜	13:00~16:00	10
7	ステップ印旛	社交ダンス	毎週金曜	9:00~12:00	7
8	陶芸サークル ねんどあそび	 陶芸 	毎週木曜	19:00~21:00	9
9	オカリナサークル やまゆり	オカリナ演奏	第2・4火曜	10:00~12:00	8
10	栖山流印旛吟道会	詩吟	第2・4日曜	13:00~15:00	5
11	いんば押し花サークル	押し花	第4土曜	13:00~17:00	6
12	桜歌の会	カラオケ	第2木曜	19:00~21:00	10
13	印旛囲碁サークル	囲碁	第1・3日曜	13:00~16:00	13
14	パンダクラブ	囲碁	第1・3木曜	13:00~16:00	9
15	印旛コスモス会	日本舞踊	不定期	不定期	8

印西市立本埜公民館サークル連絡協議会

番号	団体名	活動内容	活動日	活動時間	会員数
1	あやめ会	カラオケ	第1・3日曜	9:00~12:00	7
2	竹和会	RN	第2・4木曜	14:00~16:00	5
3	どんぶりの会	陶芸	第1・3土曜	13:00~17:00	5
4	墨絵・水彩画サークル	墨絵・水彩画	第2土曜	13:00~17:00	3
5	本埜社交ダンスサークル	社交ダンス	第1~4火曜	13:00~16:00	5
6	エアロメグミ	エアロビクス	第2・4水曜	10:00~12:00	5
7	アンサンブル OHANA	楽器演奏	毎週日曜	9:00~13:00	11
8	ワイズ	ヘルスバレー	毎週水曜	10:00~13:00	16
9	グリーンエンジェルズ	バドミントン	毎週火曜	18:00~21:00	18
10	ゆりの会	紙画	第1 水曜	13:00~17:00	6
11	北総太極拳サークル	 太極拳 	毎週火曜	9:00~12:00	11
12	コスモス新体操クラブ	新体操	第1・3日曜	9:00~17:00	30
13	合唱サークル poco a poco	合唱	第2・4火曜	10:00~12:00	30
14	エンジェル・キッズ	お母さんと幼児の 交流	第1・3木曜	10:00~12:00	11
15	アンサンブル チャム	楽器演奏	毎週土曜	13:00~16:00	6
16	印旛ヴィクトリー	バレーボール	第1土・日曜	9:00~17:00	34
17	自力整体	自力整体	第1・3土曜 第2・4火曜	10:00~13:00	12
18	ボクシングサークル NEXT-BEST	ボクシング	第1~3日曜	12:00~14:00	14
19	健身鞭杆の会	太極鞭杆	第1~3金曜	9:00~12:00	9
20	白鳥の会	ちょきん運動	毎週木曜	10:00~12:00	19

中央駅前地域交流館利用団体懇話会

	网络 网络		(手動口)	活動(注) BB	今 呂粉
番号	団体名 	活動内容	活動日	活動時間 	会員数
1	アネモネの会	絵画	第1~4火曜	9:00~13:00	6
2	創の会	絵画	第2~4木曜	9:00~13:00	12
3	ひまわり書道会	 書道 	第1・3金曜	10:00~12:00	22
4	印西刻字愛好会	刻字	第1・3土曜 第2・4水曜	13:00~17:00 9:00~12:00	5
5	陶芸 1 班	陶芸	第1木曜、第3金曜	9:00~17:00	10
6	陶芸 3 班	陶芸	第2・4土曜	13:00~21:00	8
7	陶芸 4 班	陶芸	第2・4金曜	9:00~17:00	16
8	陶華	陶芸	第1~3・5土曜	9:00~13:00	13
9	中央こでまり会	茶道(裏)	第1・3水曜	9:00~14:00	11
10	印謡会	謡曲	第1木曜、第3日曜	13:00~17:00	19
11	印西ゆめ太鼓	 和太鼓 	毎週日曜	9:00~13:00	21
12	詩吟藤乃会	詩吟	第1~4金曜	13:00~16:00	12
13	千葉ニュータウンフォークソン グヴィレッジ	フォークギター	第2・4土曜	13:00~17:00	25
14	千葉ニュータウン混声合唱団	合唱	毎週日曜	13:00~17:00	31
15	大正琴サークル菊琴の調べ	大正琴	第2・4水曜	13:00~17:00	6
16	手つなぎの会	 手話 	第1~4火曜	10:00~12:00	31
17	スポーツダンス中央	ダンス	第1~4日曜	13:00~17:00	11
18	どんぐり社交ダンス	ダンス	第1~4木曜	13:00~15:00	11
19	千葉ニュータウンスクエアダン スサークル	ダンス	第1~4土曜	13:00~17:00	36
20	輪舞曲(ロンド)	ダンス	毎週日曜	11:00~13:00	17
21	ヘルシー・コスモス・サークル (HCC)	エアロビクス	第1~4金曜	9:00~11:00	11
22	シルバーダックス	卓球	毎週水曜・金曜	13:00~15:00	61
23	スマッシュクラブ	卓球	毎週火曜	9:00~11:00	37

24	卓水クラブ	卓球	毎週水曜 毎週土曜	18:00~21:00 17:00~21:00	41
25	フレッシュクラブ	インディアカ	毎週火曜	14:00~17:00	14
26	ラケッツ	バドミントン	毎週土曜	10:00~13:00	8
27	CBC	バドミントン	第1~4金曜	15:00~17:00	17
28	気功サークル	気功	第1~4水曜	11:00~13:00	13
29	千葉ニュータウン太極拳同好会	 太極拳 	毎週日曜	9:00~11:00	15
30	太極拳火曜会	 太極拳 	第1~4火曜	11:00~13:00	28
31	ストレッチフレッシュ	健康体操	第1~4木曜	15:00~17:00	34
32	ストレッチ体操サークル	健康体操	第1~4木曜	9:00~11:00	52
33	リズミック・カンフー千葉 NT ク ラブ	健康体操	第1~4木曜	11:00~13:00	7
34	コスモス吹矢クラブ	スポーツ吹矢	毎週木曜	10:00~12:00	7
35	木刈親子読書会	読書会	第1水曜 第2水曜 第2木曜 第3土曜	16:00~18:00 16:00~18:00 10:00~13:00 19:00~21:00	50

≪個人学習支援事業≫

市民の個人学習の推進を図るため、中央公民館、そうふけ公民館、印旛公民館及び中央駅前地域交流館では常設の学習室を設置するとともに、他の公民館では事業に差し支えない範囲で、個人学習室の開放を行った。なお、令和5年2月までの利用者数は次のとおりとなる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
中央	29	30	32	49	43	35	29	32	22	25	11	337
R3	42	51	64	81	75	51	62	50	47	32	14	569
(前年度比)	▲ 13	▲ 21	▲ 32	▲ 32	▲ 32	▲ 16	▲ 33	▲ 18	▲ 25	4 7	▲ 3	▲ 232
小林	24	25	29	36	70	14	0	0	0	0	0	198
R3	43	29	35	32	45	33	38	26	31	38	40	390
(前年度比)	▲ 19	4 4	▲ 6	4	25	▲ 19	▲ 38	▲ 26	▲ 31	▲ 38	4 0	▲ 192
そうふけ	141	131	151	169	198	145	132	104	96	102	116	1,485
R3	56	О	0	0	0	0	0	0	0	0	Ο	56
(前年度比)	85	131	151	169	198	145	132	104	96	102	116	1,429
印旛	0	1	2	0	2	0	4	5	4	7	0	25
R3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
(前年度比)	0	1	2	0	2	A 2	4	5	4	7	0	23
本埜	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	1	6
R3	0	2	1	6	4	4	0	2	0	О	3	22
(前年度比)	1	0	▲ 1	▲ 5	4	4	0	A 2	0	1	A 2	▲ 16
駅前	63	76	80	89	154	110	88	71	70	70	61	932
R3	41	65	69	55	117	80	64	43	81	55	66	736
(前年度比)	22	11	11	34	37	30	24	28	▲ 11	15	4 5	196
計	258	265	294	344	467	304	253	212	192	205	189	2,983
R3	182	147	169	174	241	170	164	121	159	125	123	1,775
(前年度比)	76	118	125	170	226	134	89	91	33	80	66	1,208

※小林公民館は R4.10~R5.9 まで休館

≪貸館事業≫

市民、地域団体及び利用サークル等に、社会教育、生涯学習、会議及び交流の場を提供し、公民館及び交流館を学習拠点及び交流拠点として活用いただき、地域コミュニティーの醸成、社会教育・生涯学習の推進に努めていく。令和5年2月までの公民館等利用者数は次のとおりとなる。

なお、主催事業参加者及び個人学習室利用者もすべてカウントしたものとなる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
中央	1,554	1,520	2,129	1,664	1,185	1,914	1,729	1,665	1,572	1,519	1,675	18,126
R3	1,301	1,565	2,125	2,256	968	1,169	1,785	1,526	1,738	1,188	1,079	16,700
(前年度比)	253	▲ 45	4	▲ 592	217	745	▲ 56	139	▲ 166	331	596	1,426
小林	1,375	1,006	1,583	2,670	691	2,155	0	0	0	0	0	9,480
R3	1,377	1,430	1,409	1,696	622	1,522	2,135	1,829	1,447	1,169	1,180	15,816
(前年度比)	▲ 2	▲ 424	174	974	69	633	▲ 2,135	▲ 1,829	▲ 1,447	▲ 1,169	▲ 1,180	▲ 6,336
そうふけ	1,976	2,402	2,431	3,868	1,442	2,073	2,438	1,774	2,277	2,483	2,340	25,504
R3	1,392	0	0	o	0	0	0	0	0	0	0	1,392
(前年度比)	584	2,402	2,431	3,868	1,442	2,073	2,438	1,774	2,277	2,483	2,340	24,112
印旛	345	325	485	1,361	218	322	1,169	1,052	484	338	444	6,543
R3	281	310	354	752	159	487	2,463	847	788	290	196	6,927
(前年度比)	64	15	131	609	59	▲ 165	▲ 1,294	205	▲ 304	48	248	▲ 384
本埜	1,114	936	1,168	1,144	996	1,021	1,316	1,269	1,304	1,029	1,276	12,573
R3	1,833	761	1,154	1,014	934	877	1,347	1,241	1,247	1,084	945	12,437
(前年度比)	▲ 719	175	14	130	62	144	▲ 31	28	57	▲ 55	331	136
駅前	5,866	5,266	7,367	5,651	4,728	5,788	7,061	6,574	5,596	5,525	6,151	65,573
R3	4,109	3,832	5,581	4,005	3,373	4,066	4,801	5,750	4,887	4,871	3,156	48,431
(前年度比)	1,757	1,434	1,786	1,646	1,355	1,722	2,260	824	709	654	2,995	17,142
計	12,230	11,455	15,163	16,358	9,260	13,273	13,713	12,334	11,233	10,894	11,886	137,799
R3	10,293	7,898	10,623	9,723	6,056	8,121	12,531	11,193	10,107	8,602	6,556	101,703
(前年度比)	1,937	3,557	4,540	6,635	3,204	5,152	1,182	1,141	1,126	2,292	5,330	36,096

※小林公民館は R4.10~R5.9 まで休館

また、参考として令和5年2月末までの施設使用状況を利用率によって算出した。利用率の算出方法は、1日を午前・午後・夜間(開館日のみ)の3コマでカウントして算出したものとなる。

	時間帯(午前・	午後・夜間)コマ	数による利用率	夜間開館	稼働	貸館部屋数
	使用コマ数	総コマ数	利用率	曜日	時間帯数	貝貼即座奴
中央	2,471	6,809	36.3%		619	11
R3	2,301	6,842	33.6%	水•土	622	11
(前年度比)	170	▲ 33	2.7%		▲ 3	0
小林	926	2,443	37.9%		349	7
R3	1,796	4,354	41.2%	水•土	622	7
(前年度比)	▲ 870	▲ 1,911	▲3.3%		▲ 273	0
そうふけ	2,336	5,571	41.9%		619	9
R3	173	464	37.3%	水•土	58	8
(前年度比)	2,163	5,107	4.6%		561	1
印旛	676	4,936	13.7%		617	8
R3	721	4,968	14.5%	木・金	621	8
(前年度比)	▲ 45	▲ 32	▲0.8%		4	0
本埜	1,673	7,368	22.7%		614	12
R3	1,874	7,404	25.3%	火•木	617	12
(前年度比)	▲ 201	▲ 36	▲2.6%		▲ 3	0
駅前	5,819	9,904	58.8%		619	16
R3	4,385	8,086	54.2%	水•土	622	12
(前年度比)	1,434	1,818	4.6%		▲ 3	4
計	13,901	37,031	37.5%			
R3	11,250	32,118	35.0%	_	_	_
(前年度比)	2,651	4,913	2.5%			

※小林公民館は R4.10~R5.9 まで休館